

令和6年度

事業報告並びに収入支出決算報告書



神奈川県民生委員児童委員協議会

はじめに

令和6年度は、昨今の少子高齢化や人口減少、ライフスタイルの変化等により家族や地域による自助・共助の力が弱まり、生活課題の複雑化・多様化により公的支援では対応困難な状況が引き続き見られるなかで、4月には孤独・孤立対策推進法が施行される等、地域共生社会の実現に向けた国の動きもありました。このようななか、地域の身近な相談役である民生委員・児童委員による実践は各地で行われましたが、令和6年1月の主任児童委員制度創設30周年に関連した取り組みや、令和7年12月の一斉改選に向けた準備等の動きも数多く見られました。本会においては、これらの状況を踏まえながら、また、県版活動強化方策に掲げる『きづく・つなぐ・みまもる』活動を大切にしながら、次の事項を重点に掲げて事業に取り組みました。

<重点目標>

1. 社会的孤立を防ぐための個別支援活動の推進

年2回の単位民児協会長研修会では孤独・孤立状態にある方への対応や、外国にルーツを持つ方への支援を念頭に“やさしい日本語”に焦点を当てた内容により開催し、課題別集中講座では認知症の方を抱えるご家族から委員への期待等をお話いただきました。また、主任児童委員のみを対象とする連絡会議を初めて開催し、県民児協だよりでは児童委員活動や災害を特集する等、年4回発行しました。

2. 複雑・多様化する課題を受け止め、つなぐための多様な機関・団体との連携

県行政と常任理事との懇談会では地域福祉に焦点を当てながら、県による取り組みや課題の報告後、事前アンケート結果をもとに意見交換し、児童相談所長と常任理事との連絡調整会議では子どもを取り巻く問題を軸に据え、県や児童相談所による取り組みや課題の報告後、事前アンケート結果をもとに意見交換をしました。なお、後者には主任児童委員2名がオブザーバーとして参加し、その活動の現状や思い等を県や児童相談所長と共有しました。

3. 持続可能な委員活動（制度）のための取り組み

総合企画委員会では期の浅い委員へのサポートを軸に検討し、次年度の取り組みにつなげるため新任委員へのヒアリング（やりがい・受けてよかったサポート等）等に取り組みました。地域活動推進助成では市町村・単位民児協における取り組み（民児協間の交流等）9件に対して助成するとともに、地域版活動強化方策策定支援研修会では講義・実践報告・演習を内容として開催し、併せて次年度の動画配信に向けた撮影（講義）を行いました。

私たちがこれまで積み重ねてきた活動を振り返り、やりがいや楽しさを再確認するとともに、「きづく・つなぐ・みまもる」姿勢を大切に、これからも皆さまと共に活動を進めてまいります。引き続き、会員並びに関係機関のご理解・ご協力をいただきたく、心よりお願い申し上げます。

令和7年6月

神奈川県民生委員児童委員協議会

会長 三 觜 壽 則

も く じ

はじめに

事業報告

1. 会務の運営と企画調整機能の強化	1
(1) 会務の運営	1
(2) 企画調整機能の強化	4
(3) 市町村民児協事務局との連絡調整	6
(4) 関係機関・団体との連絡調整	7
(5) 会員慶弔事業の実施	7
2. 個別支援を基本とした民生委員・児童委員活動の確立、単位民児協活動の強化	9
(1) 地域福祉活動促進費の交付	9
(2) 民生委員児童委員活動推進事業の指定	26
(3) 地域版活動強化方策の策定支援	28
(4) ブロック活動の役割の確認と活動強化に向けた支援	28
(5) 民生委員児童委員活動に伴う保険加入促進助成事業の実施	31
(6) 生活福祉資金の活用、社協との協働の促進	31
3. 児童委員活動の推進（基盤づくり）	32
(1) 主任児童委員連絡会議の開催	32
(2) 児童委員・主任児童委員活動推進会議の開催	32
4. 研修事業の実施（本会主催研修事業）	32
(1) 市町村民児協会長研修会	32
(2) 単位民児協会長研修会	32
(3) 課題別集中講座	33
(4) 地域版活動強化方策策定支援研修会	33
5. 情報提供の強化	34
(1) 『県民児協だより』の発行	34
(2) 民生委員児童委員活動の広報の強化	35

6. 全国・関東ブロック会議等への参加	35
7. 関連団体・機関との連携、協働	36

決算報告

一般会計収入支出決算書	39
貸借対照表	43
固定資産増減明細書	44
積立金明細書	45
財産目録	46
監査意見書	49



事業報告

1. 会務の運営と企画調整機能の強化

(1) 会務の運営 経費：1,195,987円

役員会は、正副会長会議を2回、常任理事会を4回、理事会を4回、総会を2回、監事会を1回開催し、本会の適正な運営ならびに具体的活動の方針を協議した。

正副会長会議 2回

開催期日	議 題
6.5.14	<ol style="list-style-type: none"> 1. 県民児協事業の年間予定について 2. 令和5年度県民児協事業報告並びに決算報告(案)について 3. 令和6年度県民児協収入支出補正予算(案)について 4. 第1回単位民児協会長研修会(案)について 5. 課題別集中講座(案)について 6. 地域版活動強化方策策定支援研修会(案)について 7. 児童委員活動の推進(基盤づくり)(案)について 8. 県行政と役員との懇談会及び児童相談所長と本会常任理事との連絡調整会議について 9. 市町村民児協会長研修会について 10. 全国民生委員児童委員大会における優良民児協の推薦について 11. 外部委員会の委員選出について 12. 「民生委員・児童委員の日 活動強化週間」の取り組みについて 13. 「2024(令和6)年 能登半島地震」に係る民生委員・児童委員支援金について 14. 令和6度(第84回)関東ブロック民生委員児童委員活動研究協議会(静岡県大会)について 15. 令和6年度『福祉タイムズ』8面の連載について
7.2.13	<ol style="list-style-type: none"> 1. 令和7年度県民児協事業計画(案)について 2. 令和7年度第1回総会の役割分担について 3. 令和7年度民生委員・児童委員活動PR事業について 4. 2025年度全県民児連会長表彰「優良民児協表彰」の推薦状況について

常任理事会 4回

開催期日	議 題
6.5.21	<ol style="list-style-type: none"> 1. 県民児協事業の年間予定について 2. 令和5年度県民児協事業報告並びに決算報告(案)について 3. 第1回単位民児協会長研修会(案)について 4. 課題別集中講座(案)について 5. 地域版活動強化方策策定支援研修会(案)について 6. 児童委員活動の推進(基盤づくり)(案)について 7. 県行政と役員と談所所長と本会常任理事との連絡調整会議について 8. 市町村民児協会長研修会についての懇談会及び児童相 9. 全国民生委員児童委員大会における優良民児協の推薦について 10. 民生委員児童委員活動推進助成について 11. 外部委員会の委員選出について 12. 「民生委員・児童委員の日 活動強化週間」の取り組みについて 13. 「2024(令和6)年 能登半島地震」に係る民生委員・児童委員支援金について 14. 令和6年度(第84回)関東ブロック民生委員児童委員活動研究協議会(静岡県大会)について 15. 令和6年度『福祉タイムズ』8面の連載について

6.9.18	<ol style="list-style-type: none"> 1. 県民児協事業の年間予定について 2. 市町村民児協会長研修会・第2回理事会(10/17,18箱根)について 3. 民生委員児童委員活動推進事業助成について 4. 民生委員・児童委員活動PR事業について 5. 県行政と役員との懇談会及び児童相談所所長と本会常任理事との連絡調整会議について 6. 総合企画委員会における取り組みについて 7. “仕事・介護・子育て”をしながら活動している民生委員・児童委員に関する調査について 8. 令和6年台風10号による被害状況の確認等について 9. 第84回関東ブロック民生委員児童委員活動研究協議会(静岡大会)について 10. 令和6年度全国民生委員児童委員連合会会長表彰 被表彰者(民児協)の決定について 11. 全民児連主催研修会等の派遣について 12. 外部委員会の報告について
7.1.16	<ol style="list-style-type: none"> 1. 令和6年度県民児協事業の実施内容および令和7年度県民児協事業の方向性等について 2. 民生委員児童委員活動推進事業助成について 3. ブロック別活動経費の申請(追加分)について 4. 民生委員・児童委員活動PR事業について 5. 県社協役員改選について 6. 全国民生委員互助共励事業の取扱要領の改訂について 7. 令和6年度第93回全国民生委員児童委員大会(宮崎大会)について 8. 外部委員会の参加報告について
7.2.20	<ol style="list-style-type: none"> 1. 令和7年度県民児協事業計画(案)並びに収支予算(案)等について 2. 令和7年度第1回総会の役割分担について 3. 令和7年度第1回単位民児協会長研修会について 4. 令和7年度民生委員・児童委員活動PR事業について 5. 2025年度全民児連会長表彰「優良民児協表彰」の推薦について 6. 民生委員児童委員活動推進事業助成について

理事会 4回

開催期日	議 題
6.6.10	<ol style="list-style-type: none"> 1. 県民児協事業の年間予定について 2. 令和5年度県民児協事業報告並びに決算報告(案)について 3. 第1回単位民児協会長研修会(案)について 4. 課題別集中講座(案)について 5. 地域版活動強化方策策定支援研修会(案)について 6. 児童委員児童委員大会における優良民児協の推薦について 7. 民生委員児童委員活動の推進(基盤づくり)(案)について 8. 県行政と役員との懇談会及び児童相談所所長と本会常任理事との連絡調整会議について 9. 市町村民児協会長研修会について 10. 全国民生委員児童委員活動推進助成について 11. 「民生委員・児童委員の日 活動強化週間」の取り組みについて 12. 「2024(令和6)年 能登半島地震」に係る民生委員・児童委員支援金について 13. 関東ブロック民生委員児童委員活動研究協議会及び全国民生委員児童委員大会について

	<ul style="list-style-type: none"> 14. 令和6年度『福祉タイムズ』8面の連載について 15. 各種外部委員会の選出及び報告について 16. 仕事・子育て・介護をしながら活動している民生委員・児童委員、主任児童委員に関する調査 中間報告 について
6.10.18	<ul style="list-style-type: none"> 1. 県民児協事業の年間予定について 2. 民生委員・児童委員活動 PR 事業について 3. 県行政と役員との懇談会及び児童相談所所長と本会常任理事との連絡調整会議について 4. 児童委員・主任児童委員活動推進会議について 5. 総合企画委員会における取り組みについて 6. “仕事・介護・子育て”をしながら活動している民生委員・児童委員に関する調査について 7. 第2回総会の役割分担等について 8. 第2回単位民児協会長研修会について 9. 民生委員にかかる生活福祉資金運営要領改正について 10. 令和6年台風10号による被害状況の確認等について 11. 民生委員児童委員活動推進事業助成について 12. 第84回関東ブロック民生委員児童委員活動研究協議会（静岡大会）について 13. 令和6年度全国民生委員児童委員連合会会長表彰 被表彰者（民児協）の決定について 14. 全民児連主催研修会等の派遣について 15. 外部委員会の報告について 16. ブロック別活動の報告について
7.1.31	<ul style="list-style-type: none"> 1. 令和6年度県民児協事業の実施内容および令和7年度県民児協事業の方向性等について 2. 民生委員・児童委員活動 PR 事業について 3. 県社協役員改選について 4. 役員慶弔について 5. 2025年度全国民生委員児童委員連合会 会長表彰の推薦について 6. 民生委員児童委員活動推進事業助成について 7. ブロック別活動経費の申請（追加分）について 8. 全国民生委員互助共励事業の取扱要領の改訂について 9. 令和6年度第93回全国民生委員児童委員大会（宮崎大会）について 10. 外部委員会の参加報告について
7.3.4	<ul style="list-style-type: none"> 1. 令和7年度県民児協事業計画（案）並びに収支予算（案）等について 2. 令和7年度第1回総会の役割分担について 3. 令和7年度第1回単位民児協会長研修会について 4. 令和7年度民生委員・児童委員活動 PR 事業について 5. 2025年度全民児連会長表彰「優良民児協表彰」の推薦について 6. 民生委員児童委員活動推進事業助成について 7. ブロック別活動の報告について 8. 外部委員会の参加報告について

総会 2回

開催期日	議 題
6.6.28	令和5年度事業報告並びに収入支出決算報告(案)について
7.3.28	令和7年度事業計画(案)並びに収入支出予算(案)について

監事会 1回

開催期日	議 題
6.5.27	事業報告・決算報告(案)説明/質疑応答/講評

(2) 企画調整機能の強化

事業の企画や事業を円滑にすすめるために各種会議を開催した。

総合企画委員会 2回 経費：94,547円

開催期日	議 題
6.8.22	1. 総合企画委員会の持ち方、第3回総合企画委員会の振り返りについて 2. 「期の浅い委員へのサポートについて」に係る取り組みについて 3. 県版活動強化方策(中間年)の振り返り等について 4. 「仕事・子育て・介護をしながら活動している民生委員・児童委員、主任児童委員に関する調査」について
7.3.21	1. 第4回総合企画委員会の振り返りについて 2. 「期の浅い委員へのサポートについて」に係る取り組みについて 3. 活動強化方策に係る取り組みについて 4. 令和7年度の取り組みについて

総合企画委員会委員(令和5年4月1日から令和7年11月30日まで) 委員長 副委員長

白鳥 勉 (伊勢原市民児協 会長)
小西 悦子 (寒川町民児協 副会長)
長原 桂 (鎌倉市第一地区民児協 主任児童委員)
畠山 俊次 (大和市民児協 副会長)
中村 弘子 (松田町民児協 会計)
佐藤 又左衛門(真鶴町民児協)
渡邊 希奈美 (箱根町民児協 事務局)
中村 美安子 (神奈川県立保健福祉大学 教授)
川崎 悦子 (神奈川県地域福祉課 主事) 6.8.22まで
宮本 莉緒 (神奈川県地域福祉課 主事) 7.3.21から
三觜 壽則 (神奈川県民児協 会長、藤沢市民児協 会長) オブザーバー

広報委員会 4回 経費：161,420円

開催期日	議 題
6.5.21	1. 『県民児協だより第158号』の紙面校正について 2. 『県民児協だより第159号』の紙面企画について 3. 本会ホームページの活用に向けた検討について
6.8.23	1. 『県民児協だより第158号』の紙面校正について 2. 『県民児協だより第159号』の紙面企画について 3. 本会ホームページの活用に向けた検討について
6.11.19	1. 『県民児協だより第159号』の紙面校正について 2. 『県民児協だより第160号』の紙面企画について 3. 通信員連絡会の企画について 4. 本会ホームページの活用に向けた検討について 5. 「民生委員・児童委員の日活動強化週間」に係るYouTube 広告掲載の報告について
7.2.26	1. 『県民児協だより第160号』の紙面校正について 2. 令和7年度『県民児協だより』の紙面計画について 3. 『県民児協だより第161号』の紙面企画について 4. 本会ホームページの活用に向けた検討について

- 広報委員（令和4年12月1日から令和7年11月30日まで） 委員長 副委員長
- 小林 美幸（藤沢市主任児童委員）
 - 齋藤 啓子（大和市民生委員・児童委員）
 - 菅 重男（伊勢原市民生委員・児童委員）
 - 嶋村 真由美（座間市民生委員・児童委員）
 - 宮崎 進（葉山町民生委員・児童委員）
 - 守屋 孝幸（松田町民生委員・児童委員）
 - 勝亦 仁（真鶴町民生委員・児童委員） 第3回広報委員会（R6.11.19）まで
 - 白井 幸江（神奈川県民児協副会長、横須賀市民児協会長） オブザーバー
 - 川崎 悦子（神奈川県地域福祉課）オブザーバー 第2回広報委員会（R6.8.23）まで
 - 小出 雅昭（神奈川県地域福祉課）オブザーバー 第3回広報委員会（R6.11.19）から

通信員連絡会 1回 経費：130,188円

開催期日	議 題
7.2.26 25名	1. 研修 「魅力的な広報づくり～読みたくなるデザインの紙面を知ろう～」 講師：安西 稔氏（株式会社あんざい） 2. 通信員連絡会 (1)通信員だよりの執筆担当について (2)情報交換「各市町村・単位民児協で取り組む広報活動について」 （広報紙やチラシの発行、活動強化週間の取り組みなど）

通信員（令和4年12月1日から令和7年11月30日まで）

市町村名	通信員名	市町村名	通信員名	市町村名	通信員名
横須賀市	丸 茂 喜久代	大和市	石 口 恭 子	大磯町	小 島 美 奈
平塚市	中 山 裕 史	伊勢原市	菅 重 男	二宮町	森 清 子
鎌倉市	大 崎 美紀雄	海老名市	米 田 光太郎	中井町	西 尾 美嘉子
藤沢市	今 福 民 生	座間市	中 村 由 美	大井町	瀬 戸 里 美
小田原市	田 邊 淳 子	南足柄市	石 川 京 子	松田町	守 屋 孝 幸
茅ヶ崎市	佐 藤 幸 子	綾瀬市	堀 誠	山北町	加 藤 君 江
逗子市	竹 見 美佐子	愛川町	中 島 良 一	開成町	熊 澤 喜久恵
三浦市	山 岸 義 明	清川村	岩 澤 正 信	箱根町	芝 京 子
秦野市	小 澤 みつ江	葉山町	宮 崎 進	真鶴町	織 壁 志 郎
厚木市	江 良 泰 成	寒川町	中 村 昭 雄	湯河原町	高 橋 直 道

(3) 市町村民児協事務局との連絡調整

市町村民児協事務担当者会議 3回 経費：0円

開催期日	議 題
6.5.30	<p>【オンライン開催】</p> <ol style="list-style-type: none">1. 神奈川県民生委員児童委員協議会の概要について2. 令和6年度年間スケジュール(案)について3. 民生委員・児童委員を対象とする助成事業について4. 互助事業について5. 民児協関連書類について<ol style="list-style-type: none">(1) 活動記録について(2) 個別援助票について(3) 調査事務について6. 神奈川県版活動強化方策について7. 本会ホームページの運用について8. 民生委員児童委員の魅力を効果的に伝えるための取り組みについて9. “仕事・子育て・介護”をしながら活動している民生委員・児童委員、主任児童委員に関する調査について10. その他<ol style="list-style-type: none">(1) 令和5~7年度『県民児協だより』原稿執筆分担について(2) 全民児連実施「単位民生委員児童委員協議会活動実態調査2024」へのご協力について(3) 令和6年 能登半島地震に係る民生委員・児童委員支援金について
6.8.2	<p>【オンライン開催】</p> <ol style="list-style-type: none">1. 事前アンケートに基づく情報共有2. 市町村民児協の状況について(情報交換) テーマ(1)なり手確保に向けた今後の取り組みについて (2)民生委員・児童委員活動を続けやすくするための取り組みについて3. その他 全国大会について
7.3.10	<p>【オンライン開催】</p> <p>市町村民児協・行政合同事務担当者会議(県地域福祉課との合同開催)</p> <p>【第1部】県民児協事業説明(市町村民児協向け)</p> <ol style="list-style-type: none">1. 令和7年度県民児協事業計画並びに収支予算(案)について<ol style="list-style-type: none">(1) 事業計画(案)について(2) 収支予算(案)について(3) 令和7年度各種助成事業(案)について2. 令和7年度役員会等年間予定について3. 令和7年度全国大会・研修等の派遣について4. その他<ol style="list-style-type: none">(1) 全国民生委員互助共励事業の取扱要領の改訂について(2) 民生委員・児童委員活動PR事業について(3) 令和7年度『県民児協だより』原稿執筆分担について(4) 本会ホームページ掲載情報の更新について <p>【第2部】民児協・行政合同情報交換(市町村民児協・行政向け)</p> <ol style="list-style-type: none">1. 事前アンケートに基づく情報共有2. グループ討論<ol style="list-style-type: none">(1) なりて確保に向けた取り組みについて(2) 新任委員等への支援について(3) 民生委員児童委員活動のPRについて

市町村民児協事務局向けの情報配信

各市町村民児協事務局へ、研修や会議の日程などの事務連絡を定期的に電子メールにより配信し、業務の円滑な推進を図った。

(4) 関係機関・団体との連絡調整

県行政と常任理事との懇談会 1回 経費：23,049円

本会常任理事と民生委員・児童委員の業務に係りの深い県地域福祉課との懇談会を開催し、委員活動に係る県の取り組みや課題等を報告いただき、協議題について意見交換を行った。また、横須賀市福祉総務課にオブザーバーとしてご参加いただき、県域での課題を共有した。

開催期日	議 題
6.11.14	1. 県地域福祉課より「神奈川県での取り組み」について 2. 横須賀市福祉総務課より「横須賀市の取り組み」について 3. 情報交換

児童相談所所長と常任理事との連絡調整会議 1回 経費：47,311円

児童に関する問題について相談に応じる専門機関の県児童相談所と児童委員活動に係りの深い県子ども家庭課、地域を見守り児童相談所につなげる役割をもつ民生委員・児童委員の三者で連絡調整を図る場として開催し、県域の課題を共有した。

開催期日	議 題
6.12.19	1. 県子ども家庭課より「神奈川県での取り組みについて」 2. 県中央児相より「神奈川県児相における相談・対応状況について」 3. 情報交換

(5) 会員慶弔事業の実施

県民児協互助事業 経費：1,290,000円(給付金)

会員及び配偶者に対して弔慰または見舞金の給付を行った。

区分	種別	件数(件)	金額(円)	退任記念品
死亡弔慰	公務死亡	-	-	-
	一般死亡 1	16	320,000	7
	配偶者死亡	23	230,000	-
傷病見舞	公務傷害 2	8	80,000	-
	公務疾病	-	-	-
	一般傷病	64	640,000	-
出産祝金	女性会員祝金	1	10,000	-
災害見舞	災害	1	10,000	-
退任慰労	退任慰労	39	-	39
合 計		152	1,290,000	46

全国互助事業 経費：1,825,000円(給付金)

全国民生委員互助運営要綱により、それぞれ給付を行った。

区分	種別	件数(件)	金額(円)
死亡弔慰	公務死亡	-	-
	一般死亡 1	16	480,000
	配偶者死亡	23	230,000
傷病見舞	公務傷害 2	8	280,000
	公務疾病	-	-
	一般傷病	64	626,000
災害見舞	女性会員祝金	1	-
	災害	1	50,000
退任慰労 3	退任慰労	39	159,000
合 計		152	1,825,000

- (1)16 件のうち 9 件は対象要件の任期 3 年以上に満たないため、退任記念品の給付はなし
- (2)対象者宅訪問時に段差を踏み外し転倒、アキレス腱断裂等
- (3)現金ではなく、退任記念品をお渡ししている

〔全国・県 合計給付状況内訳〕

市町村名	総件数				市町村名	総件数			
		給付金		退任 記念品			給付金		退任 記念品
		金額(円)	件数				金額(円)	件数	
横須賀市	22	438,000	17	6	綾瀬市	6	126,000	5	1
平塚市	20	340,000	14	6	愛川町	0	0	0	0
鎌倉市	5	60,000	3	2	清川村	0	0	0	0
藤沢市	14	340,000	13	4	葉山町	2	40,000	2	0
小田原市	0	0	0	0	寒川町	5	100,000	5	0
茅ヶ崎市	11	260,000	9	2	大磯町	0	0	0	0
逗子市	4	20,000	1	3	二宮町	1	0	0	1
三浦市	1	50,000	1	1	中井町	1	20,000	1	0
秦野市	8	150,000	6	2	大井町	3	70,000	2	1
厚木市	10	166,000	6	4	松田町	1	50,000	1	0
大和市	10	196,000	7	3	山北町	0	0	0	0
伊勢原市	5	60,000	3	2	開成町	0	0	0	0
海老名市	2	70,000	2	1	箱根町	3	110,000	3	1
座間市	16	220,000	11	5	真鶴町	0	0	0	0
南足柄市	1	20,000	1	0	湯河原町	1	50,000	1	1
						152	2,956,000	114	46

注) 一般死亡かつ任期が3年を超える方には、給付金と退任記念品をお渡ししている。そのため、総件数は給付金及び退任記念品贈呈の対象者の実人数であり、給付金件数と退任記念品件数の合計ではない。

全国共励事業の実施と協力

本会より全社協へ民生委員互助共励事業会費 8,403,700 円を納入し、全社協から 3,675,900 円の助成があった。本会では、全国共励事業の一環として全国指定民生委員児童委員協議会への助成を行い、また、地方事務費を本会の全国互助共励事業取扱に伴う事務費に充当した。

< 助成金の内訳 > (単位：円)

種 別	金 額
互助事業	1,825,000
共励事業	524,000
地方事務費	1,326,900
合 計	3,675,900

このほか、全社協が共励事業の一環として発行した『民生委員・児童委員のひろば』等資料の配布を受けた。

2. 個別支援を基本とした民生委員・児童委員活動の確立、単位民児協活動の強化

民生委員・児童委員活動の組織的基盤であり、拠点である地区民児協の充実強化を図るため、指定地区を中心に支援を行った。

(1) 地域福祉活動促進費の交付 経費：9,902,000円 送金手数料含む

民生委員・児童委員活動の充実を図るとともに、市町村民児協の自主的運営と組織整備を推進する事業並びに具体的福祉活動に対してその経費の一部として助成金を交付し、地域福祉の推進に努めた。

< 交付金総額 > 9,885,500円

地域福祉活動促進費使途内容

市町村名	内 容
横須賀市	<p>【研修事業】</p> <p>(1) 役員研修会・情報交換会 役員（常任理事・理事・監事）を対象とする研修会を開催 第1回役員研修会 <日 時> 令和6年6月25日（火）14時15分から15時45分まで <場 所> 総合福祉会館 5階 視聴覚研修室 <出席者> 51名 (内訳) (1) 市民児協役員 46名（常任理事17名、理事27名、監事2名） (2) 事務局 5名 <内 容> 講 義 令和6年能登半島地震に係る災害ボランティアセンター派遣の報告」 報告者 横須賀市社会福祉協議会 地域福祉課職員 齋藤 広将 総務課職員 杉山 耀一 第2回役員研修会 <日 時> 令和7年1月23日（木）15時30分から16時50分まで <場 所> セントラルホテル 4階 ダイヤモンド西 <出席者> 51名 (内訳) (1) 市民児協役員等 48名（常任理事18名、理事29名、監事1名） (2) 事務局 3名 <内 容> 講義「横須賀市版活動強化方策経過報告会 グループワーク」 進行 横須賀市民生委員児童委員協議会 副会長 君島 富美江 氏 第3回役員研修会 <日 時> 令和7年3月19日（火） <場 所> 総合福祉会館 5階 視聴覚研修室 <出席者> 48名 (内訳) (1) 市民児協役員 42名（常任理事16名、理事26名、監事2名） (2) 事務局 4名 <内 容> (1) 横須賀市版活動強化方策 現状報告 (2) 各地区におけるグループワーク実施方法等について 発表者 追浜地区民生委員児童委員協議会会長 矢内 敏郎 氏 大津地区民生委員児童委員協議会会長 嶋口 司 氏 久里浜第2地区民生委員児童委員協議会会長 君島富美江 氏</p> <p>(2) 全民生委員児童委員研修会 横須賀市児童相談所との共催により、児童福祉の向上と関係機関との連携強化を図ることを目的とし、全民生委員児童委員研修会を開催した。 <日 時> 令和7年2月19日（水）13時30分～15時10分 <場 所> ヨコスカ・ベイサイド・ポケット <出席者> 362人</p>

<p>横須賀市 (続き)</p>	<p>(内 訳)</p> <p>(1)民生委員児童委員 354 人 (2)事務局 3人 (3)市児童相談所関係者 5人 <内 容></p> <p>(1)主催者挨拶 横須賀市民生委員児童委員協議会会長 白井 幸江 横須賀市児童相談所副所長 綿引 智子</p> <p>(2)講演 演題 「里親としての体験～子どもを迎えること、家族になること～」 講師 里親 北之迫 由美子 氏</p> <p>(3) 初任者研修会 新たに委嘱された民生委員児童委員や主任児童委員が、その活動に積極的に取り組むことができるよう基礎的な知識を修得することを目的とし開催した。 <日 時>令和7年1月15日(水)12:30 開場 13:00~15:30 <場 所>総合福祉会館 5 階 視聴覚研修室 <出席者>民生委員児童委員 31 人 <内 容></p> <p>(1)民生委員児童委員活動における心構え 横須賀市民生委員児童委員協議会 会長 白井 幸江</p> <p>(2)横須賀市の福祉施策と民生委員・児童委員活動 横須賀市民生局福祉こども部福祉総務課</p> <p>(3)横須賀市の生活保護業務について 横須賀市民生局福祉こども部生活福祉課</p> <p>(4)横須賀市の高齢者福祉施策 横須賀市民生局福祉こども部介護保険課</p> <p>(5)地域包括支援センターについて 横須賀市民生局福祉こども部地域福祉課</p> <p>(6)横須賀市の障害福祉施策 横須賀市民生局福祉こども部障害福祉課</p> <p>(7)横須賀市の児童福祉施策 横須賀市民生局福祉こども部子育て支援課 横須賀市民生局こども家庭支援センター</p> <p>(8)活動記録・個別援助票・調査事務の記入方法と考え方 横須賀市民生委員児童委員協議会事務局</p> <p>(4) 民生委員児童委員大会 5月12日の「民生委員・児童委員の日」並びに5月12日から5月18日の「民生委員・児童委員活動強化週間」の取り組みの一つに位置付け、市内の民生委員児童委員が一堂に会して、委員としての基本的な職務や自らが地域で果たし得る役割を見つめ直し、関係行政機関や地域関係者との協働のもとに地域福祉を推進していくことを目的として開催した。 <日 時>令和6年5月24日(金)13時30分から15時まで <場 所>ヨコスカ・ベイサイド・ポケット <内 容></p> <p>【第一部】式典</p> <p>(1)主催者あいさつ 横須賀市民生委員児童委員協議会会長</p> <p>(2)来賓祝辞 横須賀市長、横須賀市議会議長、横須賀市社会福祉協議会会長</p> <p>(3)来賓紹介</p> <p>【第二部】 講演「高齢者の健康～フレイルと熱中症の予防～」</p>
------------------------	---

<p>横須賀市 (続き)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・フレイル予防 <ul style="list-style-type: none"> 講師 横須賀市民生局健康部健康増進課 主任 橋 小由里氏 (歯科衛生士) 主任 大畠 陽子氏 (理学療法士) ・熱中症予防 <ul style="list-style-type: none"> 講師 横須賀市民生局健康部健康増進課 主査 竹内 和美氏 (保健師) <p>< 出席者 > 395 人 (内訳) (1) 民生委員児童委員 374 人 (2) 来賓 12 人 (3) 横須賀市職員 3 人 (4) 事務局 6 人</p> <p>【実践事業】</p> <p>(1) 広報啓発活動</p> <p>(1) ふれあいミニサロン運営 市民に民生委員児童委員活動について周知することを目的として参加した。 < 日 時 > 令和 6 年 6 月 2 日 (日) < 場 所 > 総合福祉会館 2 階市社協第 2 会議室内「民生委員児童委員協議会ブース」 < 内 容 > 「やさしさ広がり」ふれあいフェスティバル 2024 に参加し、民生委員活動の周知等を目的に「ふれあいミニサロン」を開催。切り絵 (午前)、バルーン・アート (白鳥、犬、剣)、昔遊び (お手玉、けん玉、福笑い、あやとりなど) を来場者と実施するとともに、民生委員活動の PR のためのチラシ等を配付した。また、神奈川県社会福祉協議会民生委員児童委員部会作成の PR 動画を放映した。来場者数 500 人以上。</p> <p>(2) P R 活動・研修事業で活用するため、プロジェクターを購入</p> <p>(2) 部会活動 研究広報部会、在宅福祉部会、児童福祉部会の各部会を開催し、会議や研修を行った。</p> <p>研究広報部会 部会会議：6 回 (編集・校正作業含む) 正副部会長会議：4 回 編集グループでの打ち合わせ：13 回 (編集・校正作業含む) よこすか民児協会報発行 (1) 第 97 号 令和 6 年 5 月 1 日発行 (2) 第 98 号 令和 6 年 11 月 1 日発行</p> <p>在宅福祉部会 部会会議：4 回 (1) 令和 6 年 5 月 22 日 (水) 総合福祉会館 ボランティアセンター 第 3 活動室 (2) 令和 6 年 8 月 20 日 (火) 総合福祉会館 市社協第 2 会議室 (3) 令和 6 年 11 月 19 日 (火) 総合福祉会館 市社協第 2 会議室 (4) 令和 7 年 2 月 18 日 (火) 総合福祉会館 ボランティアセンター 第 3 活動室</p> <p>児童福祉部会 役員会：1 回 令和 6 年 5 月 31 日 (金) 総合福祉会館 市社協第 2 会議室 部会会議 (研修会)：1 回 令和 6 年 10 月 16 日 (水) 総合福祉会館 視聴覚研修室 部会会議 (情報交換会)：1 回 令和 7 年 2 月 25 日 (火) 総合福祉会館 視聴覚研修室</p> <p>子育てサロンカレンダー発行 (1) 令和 6 年度後期 (2) 令和 7 年度前期</p> <p>(3) 事務費 研修・部会開催に伴う事務用品、郵送料等</p>
------------------------	---

平塚市	<p>1 常任理事会</p> <p>4/12(金)市役所 令和5年度事業報告及び決算について 令和6年度事業計画(案)及び予算(案)について 令和6年度総会について 理事研修会・全体研修会について</p> <p>8/22(木)市役所 令和6年度 下半期の事業計画 について 令和7年12月の一斉改選に向けて</p> <p>12/26(木)市役所 住宅型施設へ入居する高齢者への対応について 理事研修会について 次年度の定例会・総会及び退任式・委嘱式について 令和6年度予算の執行状況について</p> <p>3/14(金)市役所 令和6年度の決算見込みについて 令和7年度上半期の事業、総会・研修会について 各審議会等への委員選出について</p> <p>2 地区会長会議・理事会</p> <p>4/4(木) 令和6年度「ひとり暮らし高齢者調査」の実施について(依頼) 生活福祉資金貸付金償還残額のお知らせについて 【理事会】 パネル展・街頭 PR 活動について</p> <p>5/2(木) 生計困難世帯の小・中学生修学旅行等支度費の配付について(依頼) 生計困難世帯の夏期慰問金該当世帯の調査について(依頼) 【理事会】 令和5年度事業報告及び決算、監査報告について 令和6年度事業計画(案)及び予算(案)について 個人情報の取扱いについて</p> <p>6/6(木) 避難行動要支援者名簿の更新等について(依頼) 個別避難計画(避難行動要支援者制度)について 夏期慰問品 尿取りパット 配付に関する調査について(依頼)</p> <p>7/4(木) 夏期慰問金の配付について(依頼) 生活福祉資金貸付金償還残額のお知らせについて 【理事会】 民生委員児童委員による金銭の取り扱いに関する基本的な考え方の周知・徹底について</p> <p>8/1(木) 寝たきり高齢者等への慰問品の配付について(依頼) 【理事会】 個別援助票の集計について 「親子であそぼうフェスティバル」への協力について(依頼)</p> <p>9/5(木) 福祉避難所について(周知) 「親子であそぼうフェスティバル」のチラシ配布について(依頼) 赤い羽根共同募金街頭募金への協力について(依頼) 【理事会】 理事研修会について</p> <p>10/3(木)</p>
-----	--

<p>平塚市 (続き)</p>	<p>拡大会議 民生委員児童委員定数に係る増減要望の調査について(依頼) 民生委員児童委員継続意向調査について(依頼) 避難行動要支援者名簿追加分の配付について 年末慰問金対象生計困難世帯の調査について(依頼) 一般遺児激励金支給対象児の調査について(依頼) 生活福祉資金貸付金償還残額のお知らせについて</p> <p>11/7(木) 「親子であそぼうフェスティバル」への協力について(御礼) ひとり暮らし高齢者調査について 平塚市社会福祉協議会地区担当職員について(お知らせ) 【理事会】 地区民児協広報紙等におけるイラスト使用時の注意について</p> <p>12/5(木) 生計困難世帯への年末慰問金の配付について(依頼) 一般遺児激励金の配付について(依頼) 冬期(第2回)慰問品配付に関する調査について(依頼) 【理事会】 平塚市自治会連絡協議会への一斉改選への協力依頼について</p> <p>1/9(金) 委員定数に係る増減要望の調査結果について 小・中学校入学祝金及び中学校卒業祝金の支給対象調査について(依頼) 交通遺児等激励金支給対象児の調査について(依頼) 【理事会】 委員継続意向調査結果の自治会・町内会への提供について</p> <p>2/6(木) 避難行動要支援者名簿追加分の配付について 令和7年度ひとり暮らし高齢者調査について 「地域連携推進会議」の周知について(依頼) 令和5年度冬期(第2回)慰問品の配付について(依頼) 「民生委員にかかる生活福祉資金運営要領改正」について</p> <p>3/6(木) 高齢者等の消費者被害未然防止への御協力について(依頼) 小・中学校入学祝金及び中学校卒業祝金の配付について(依頼) 交通遺児等激励金の配付について(依頼) 小・中学生修学旅行等支度金支給対象児の調査について(依頼) 【理事会】 パネル展について</p> <p>3 監事会 4/15(月) 令和5年度平塚市民生委員児童委員協議会 事業報告 令和5年度平塚市民生委員児童委員協議会 収入支出決算 監事による監査並びに講評</p> <p>4 総会 5/23(木) 令和5年度事業報告及び収入支出決算 令和5年度監査報告 令和5年度事業計画(案)及び収入支出予算(案)</p> <p>5 啓発活動 5/13(月) 平塚駅周辺 街頭PR活動 5/9(木)~16(木) ららぽーと湘南平塚 民生委員児童委員活動パネル展</p>
---------------------	--

平塚市 (続き)	<p>6 研修会</p> <p>5/25(木) 平塚市主催 全体研修会【参加者数 312 名】 テーマ：避難行動要支援者支援制について</p> <p>9/9(月) 県社協 オンライン情報交換会 (zoom)【参加者数 1 名】 テーマ：仕事・子育て・介護をしながら活動する民生委員児童委員へのサポートについて</p> <p>9/25(水) 県民児協 児童委員・主任児童委員連絡会議【参加者数 2 名】 テーマ：主任児童委員に求められる役割とは～主任児童委員制度 31 年目に向けて～</p> <p>9/27(金) 県民児協 課題別集中講座【参加者数 31 名】 テーマ：認知症の人と家族を地域で支えるために</p> <p>11/19(火) 湘南西ブロック会議 湘南西ブロック研修会【参加者数 85 名】 (3 市 2 町の合計は約 250 名) テーマ：災害における民生委員児童委員としての活動 ～住民や地域、他機関との連携について～</p> <p>12/12(木) 県 テーマ別研修 【参加者数 1 名】 テーマ：怒りの感情の裏には何がある？対人関係を円滑にするアンガーマネジメント</p> <p>12/20(金) 市民児協 全体研修会【参加者数 320 名】 テーマ：「相手も自分も大切にするインクルーシブな「相手も自分も大切にするインクルーシブな地域づくり ～地域共生社会を目指して～」</p> <p>12/26(木) 県民児協 児童委員・主任児童委員活動推進会議【受講者数 47 名】 テーマ：児童委員・主任児童委員連絡会議の振り返り 学校と児童委員・主任児童委員の関わり スクールソーシャルワーカーとは</p> <p>1/21(火)・1/28(火) 県 新任民生委員児童委員研修【受講者数 3 名】 テーマ：民生委員児童委員の役割と心構え民生委員児童委員の役割と心構え 生活福祉資金貸付制度について 県民児協事務局からのお知らせ</p> <p>1/24(金) 県 会長部会長研修【参加者数 9 名】 テーマ：一斉改選に向けた地区民児協の対応について 委員が活動しやすい環境づくりに向けて～ハラスメントの理解～</p> <p>2/14(金) 県 テーマ別研修 【参加者数 5 名】 テーマ：災害に備える民生委員児童委員だからできる活動</p> <p>2/18(火)・2/19(水) 市民児協 理事研修会【参加者数 1 日目 18 名・2 日目 15 名】 【1 日目】研修会 避難所運営委員会について 個別避難計画について個別避難計画について 意見交換 避難所運営委員会への民生委員の参画について 欠員区域における公募制の試行について 【2 日目】意見交換 子どもの居場所について 一斉改選に向けた候補者探し等について</p> <p>7 専門部会及び連絡会 【広報部会】</p> <p>5/9(木)～16(木)ららぽーと湘南平塚 民生委員児童委員活動パネル展 5/13(月) 平塚駅周辺街頭 PR 活動の実施 6/17(月) 市役所 第 1 回部会(研修) みんなのまち情報宅配便「読んでみたくなる団体広報紙を作るコツ」 講師：市広報課</p> <p>9/2(月) 市役所 ひらつか民児協だより第 37 号の編集会議 10/8(火) 市役所 ひらつか民児協だより第 37 号の編集会議 11 月末 ひらつか民児協だより第 37 号の発行 1/28(火) 市役所 第 2 回部会 市民児協だより 37 号の発行報告 令和 7 年度の活動計画について インスタグラムでの PR について</p>
-------------	--

平塚市 (続き)	<p>【高齢者部会】</p> <p>6/20 (木) 平塚市中央図書館 講義「高齢者よろず相談センターについて」(講師：市地域包括ケア推進課) 高齢者よろず相談センターとの情報交換・意見交換</p> <p>10/23 (水) 市役所 講義「認知症についての理解を深める」 (講師：メモリーケアクリニック湘南)</p> <p>2/27 (木) 平塚市美術館 認知症VR体験(チームオレンジ研修の一部) 令和7年度の高齢者部会の活動計画</p> <p>【心身障がい者部会】</p> <p>8/23 (金) 市中央図書館 平塚市障がい者団体連合会との情報交換会</p> <p>11/27 (水) 市役所 講義「障がい者を取り巻く動向について」 「障がい者支援制度について」(講師：市障がい福祉課)</p> <p>1/27 (月) 進和学園 施設見学・あさひホーム・やましろホーム・サンメッセしんわ 令和7年度の活動計画</p> <p>【児童部会】</p> <p>6/2 (木) 市役所 児童部会活動指針及び三ヵ年計画の再確認 要保護児童対策協議会(要対協)について(講師：市こども家庭課) 子ども・子育て支援の全体像の再確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもを支援する際の基本理念 ・環境の変化とその影響 ・こども家庭庁と子ども基本法、児童福祉法について ・児童虐待の状況等 <p>自由討議そして意見交換</p> <p>10/31 (木) 市勤労会館 講義・演習 主任児童委員との合同研修 「児童委員・主任児童委員として、子どもや子育て家庭とどう繋がるか」 (講師：聖隷クリストファー大学 准教授)</p> <p>1/30 (木) 市役所 講義「ヤングケアラーの支援について」(講師：市こども家庭課) 今年度の活動の振り返り 令和7年度の活動計画</p> <p>【主任児童委員連絡会】</p> <p>6/25 (火) レストラン大原 講義「児童虐待防止について」(講師：市こども家庭課) 市立保育園等園長との情報交換・意見交換</p> <p>7/2 (火) 青少年会館 児童・生徒指導担当者会への参加 講義「児童・生徒に対する虐待の初期聴取」 講師：横浜地方検察庁 刑事政策総合支援室 中学校区ごとの児童・生徒指導担当(教諭)との顔合わせ・情報交換</p> <p>10/31 (木) 勤労会館 講義・演習(児童部会との合同研修) 「児童委員・主任児童委員として、子どもや子育て家庭とどう繋がるか」 (講師：聖隷クリストファー大学 准教授)</p> <p>11/28 (木) 施設見学 精陽学園</p> <p>12/2 (月) 施設見学 あかちゃんひろば きらり・Tokai</p> <p>1/22 (水) 市中央図書館 今年度の活動の振り返り 情報交換・意見交換 令和7年度の活動計画 について</p>
-------------	---

鎌倉市	<p>【地域福祉活動促進事業】 地域福祉活動の充実強化を図るため、経費の一部を交付しました。 (各地区@8,000円 + 1人@1,500円×定数)</p> <p>【実践事業】 3つの研究班の活動に対する助成を図りました。(各班@40,000円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提案班 会議 10回。昨年度に引き続き、「民生委員のなり手を増やす」の目標に基づいて、活動に取り組んだ。懸賞事業を実施し、民生委員へのイメージについて応募者にアンケートを取った。 ・広報班 会議 11回。民生委員が周囲に認知される方策の検討。『社協だより』に掲載する民生委員の活動紹介記事『みんびょん通信』を作成し、各地区民生委員を通して、その記事を自治会掲示板にて掲示した。 ・福祉班 会議 11回。令和6年度のテーマ「支えあい活動を通しての地域づくり」に基づいて、福祉への理解を深めるための様々な勉強会を行った。
藤沢市	<p>(1) 研修事業 地区民児協 バス視察研修(国際福祉機器展、富士ハーネス盲導犬訓練等) 地区民児協 研修会 災害・防災等 交換民児協(16地区民児協内で毎年2地区のペアを組み行う研修・意見交換・交流事業)</p> <p>(2) 調査事業 実施高齢者世帯現況調査(6月訪問調査) 対象者: 75歳以上のひとり暮らし高齢者・高齢者世帯、在宅寝たきり高齢者 訪問調査時の配布資料(困ったときの安心電話帳、委員PR活動資料、連絡先カード等)の作成費</p> <p>(3) 研究事業 指定民児協 費 地域課題の解決や、地区民児協の機能強化等のための研究や事業を行い、終了年度の翌年度に取組結果を報告する。令和6年度指定: 辻堂西地区、湘南台地区</p> <p>(4) 実践事業 地区四部会等 活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者福祉対策部会 高齢者施設についての研修、鎌倉簡易裁判所見学、老人ホーム鶴生園へのシーツ交換、清掃ボランティア等 ・障がい者福祉対策部会 障がいの基礎知識、障がい者雇用事業所訪問、太陽の家、県立平塚盲学校 見学講義等 ・低所得者福祉対策部会 生活保護について、生活困窮者世帯について、横浜地方裁判所見学、特別老人ホーム施設見学、生活困窮者対応の具体的手法などの研究、検討会等 ・児童福祉対策部会(不登校についての研修、子ども食堂見学、児童クラブ見学、座学研修(子ども食堂) おはようボランティア、給食配膳と片づけ、校外学習付き添い等 <p>地区 民児協 事業(米作り委員会の活動、一人暮らし高齢者慰問品購入等)</p> <p>(5) 住民福祉を实践していくうえで必要な経費 地区民児協活動記録冊子、会報の作成 民生委員 児童委員 ポスターの作成 ボランティアに係る 備品購入費 等</p>
小田原市	<p>【研修事業】 全体研修会 民生委員児童委員が一堂に集まり、資質の向上や地域福祉活動の参考にするため研修会を実施した。 ブロック研修 各委員の資質向上を図るために、市内26地区民児協を6ブロックに分け、それぞれテーマを決めて研修会を実施した。一部ブロックではインフルエンザ等の感染症まん延防止の観点より中止。</p>

<p>小田原市 (続き)</p>	<p>理事研修視察 インフルエンザ等の感染症の関係で中止。 各種福祉団体が主催する研修会への参加 県民児協、県・市社協が開催する研修にオンライン会議等で参加し、民生委員児童委員の活動に必要な知識の習得と資質の向上に努めた。</p> <p>【共励事業】 民生委員児童委員大会 民生委員児童委員が一堂に集まり、民生委員児童委員としての職務を再認識し、その活動の更なる推進を目指して開催した。(令和6年7月17日に実施)</p> <p>【部会活動事業】 部会活動 児童部会はグループワーク等行い、他地区の委員と情報交換を行い、知識の修得に努めた。また、心配ごと相談部会については、市が行う心配ごと相談事業に協力し、市民生活の安定に努めた。</p>
<p>茅ヶ崎市</p>	<p>(1) 住民福祉を実践していくうえで必要な経費</p> <p>【地区民児協活動費】 地区研修会、勉強会、情報交換会 施設研修会</p> <p>【保険加入交付金】 保険加入に係る助成</p> <p>(2) 実践事業</p> <p>【部会活動費】 高齢福祉部会 代表者会議3回、研修会・講演会3回 障がい福祉部会 代表者会議6回、研修会・講演会3回 児童福祉部会 代表者会議8回、研修会・講演会3回 主任児童委員連絡会 連絡会11回(研修会・講演会5回含む)ほか</p> <p>【広報費】 市民児協広報紙「おひさま」第14号を令和7年3月1日付で発行。 発行部数：90,000部 配布先：全戸配布、市内公共施設ほか 主任児童委員パンフレット作成 配布先：市内小中学校新入学生徒保護者</p> <p>【旅費】 ○神奈川県民生委員児童委員協議会 総会及び研修会出席</p>
<p>逗子市</p>	<p>【部会活動費】 ○高齢者福祉部会・・・会議3回、高齢者施設への支援 障がい者福祉部会・・・会議3回(うち研修3回) 障がい者施設への支援 児童福祉部会・・・会議3回(うち研修2回) 他団体(親子ひろば)への協力・支援、離乳食教室支援 主任児童委員連絡会・・・会議12回、ずし子ども0円食堂支援、他団体(親子ひろば)への協力・支援、離乳食教室支援赤ちゃん訪問支援等</p>
<p>三浦市</p>	<p>【研修事業】 民生委員児童委員協議会活動の円滑な推進と民生委員・児童委員の資質の向上を図るため、県民児協等が開催する研修会に参加した。</p> <p>【住民福祉を推進していくうえで必要な経費】 地区民児協並びに主任児童委員の活動に対し助成を行い、活動の活発化を図った。</p> <p>地区民児協の主な活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域における見守り活動 ・小中学校と連携した学童、生徒の見守り等 ・行政及び社会福祉協議会と連携した福祉サービス利用援助 <p>主任児童委員の主な活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育てサロン「ほっと*ハート」の開催 ・「赤ちゃん訪問」による地域の子育て家庭の把握

【研修事業費】

研修事業

- (1) 「災害弱者への対応と見守り」(全体研修) 講師:駒澤大学 教授 川上 富雄 氏
- (2) 「認知症の早期発見のポイント等について」(常任理事研修)
講師:丹沢病院院長 関口 剛 氏
- (3) 県民児協等が開催する研修会へ参加(希望者)

【調査事業費】

調査事業

- (1) 全民児連作成の第4版災害に備える民生委員・児童委員活動に関する指針 改訂に基づき、「災害時民生委員児童委員活動マニュアル」改訂に着手。災害時は、自らの命、安全を守ることが最優先であるという点をあらためて認識し、日頃の地域の見守り・支援活動に取り組みました。
- (2) こんにちは赤ちゃん訪問事業に協力(市主催事業)
- (3) ひとり暮らし高齢者等登録に協力(市主催事業)

【住民福祉を实践していくうえで必要な経費】

広報活動

- (1) 広報紙「まなざし」を年2回発行し、民生委員に配布するとともに公共施設に配架するほか、教育・福祉関係者への配布や自治会組回覧を行いました。
- (2) タウンニュースへ記事の掲載、また、「活動強化週間」に併せて秦野駅のデジタルサイネージでPR動画を1カ月間放映するとともに、広報はだの5月1日号に特集記事を掲載しました。さらに、新たな取り組みとして、令和6年9月から毎月2地区ずつ市の公式LINEを活用し地区の活動の様子をお知らせしました。
- (3) 11月の児童福祉推進月間に、虐待防止への願いを込めたハート型メッセージカードを飾ったオレンジリボンツリーを保健福祉センターに展示し、併せてリフレット及び啓発物品を配架しました。また、市民の日に民生委員・児童委員コーナーを設け、児童虐待防止及び民生委員・児童委員PR活動を行いました。

【実践事業】

各部会・部活動

- (1) 地域援護部会:会議4回、勉強会1回「見守り者育成講座」講師:消費生活相談員
- (2) 高齢部会:会議2回、勉強会2回 「秦野市議会本会議の傍聴(一般質問)」、「要介護認定からサービス利用までの流れについて、日頃よく寄せられる質問について」講師:市高齢介護課職員
- (3) 障害部会:会議3回、勉強会3回 「ピアサポーターによる体験談の発表」講師:ピアサポーター、「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムについて」講師:ぱれっと・はだの職員、「精神障害者の理解と支援～家族の立場～」講師:秦野精神保健福祉家族会のぞみ会会長、「聴覚障害者への理解と関わり方」講師:神奈川県視覚障害者福祉協会理事長、「手話実技(簡単な挨拶など)聴覚障害についての基本的な理解」講師:神奈川県聴覚障害者連盟会員、「障害者の避難行動計画について」講師:市障害福祉課課長、「被災地における障害者の状況について」講師:秦野市手をつなぐ育成会会長
- (4) 児童部会:会議2回、勉強会2回 「児童虐待の現状と課題」講師:神奈川県平塚相談所、児童福祉司スーパーバイザー、「様々な困難さを抱える子ども(集団生活ができない)への理解と対応」講師:(株)LITALICOスーパーバイザー、合同研修1回「人とのよい関係を結べる言葉の力、関わり方」講師:日本子育てアドバイザー協会認定子育てアドバイザー・子どもの読書アドバイザー
- (5) 主任児童委員部:会議3回、勉強会1回「児童擁護施設の現状と課題～地域社会との関わり、退所後のフォロー～」講師:社会福祉法人心泉学園園長、合同研修1回「人とのよい関係を結べる言葉の力、関わり方」講師:日本子育てアドバイザー協会認定子育てアドバイザー・子どもの読書アドバイザー、11月児童虐待防止推進月間にオレンジリボンツリー(保健福祉センター)設置、市民の日にイベント開催・啓発物等の配架
- (6) 広報部:会議10回、民児協だより年2回発行(4・10月)組回覧

厚木市	<p>【研修事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全員研修会（15 地区ごとに実施） コロナ禍に引き続き、15 地区全体での研修ではなく、地区ごとに全員参加による民生委員・児童委員の資質向上を図るための DVD 視聴及びグループディスカッション研修を実施 ・地区研修（8 回） 各地区の研修支援 <p>【実践事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設ふれあい部会（会議開催 2 回・研修開催 1 回） 会議・情報交換、視察研修 ・高齢部会（会議開催 2 回・研修開催 1 回） 会議・情報交換、視察研修 ・児童部会（会議開催 2 回・研修開催 1 回） 会議・情報交換、講義 <p>【住民福祉活動を推進していく上で必要な経費】</p> <p>各地区民児協（15 地区）ごとに実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア広報啓発活動(@20,000×15 地区 = 300,000 円) ボランティア活動・福祉のまちづくり運動の推進、ボランティアの発掘、把握、育成。地域包括支援センター及び地区地域福祉推進委員会並びに地域ボランティア等と連携し、在宅高齢者等の把握と支援活動を実施。 ・施設ふれあい活動(@600×304 人 = 182,400 円)
大和市	<p>【研修事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役員研修 講師謝礼金 <p>【調査事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活福祉部会・・・要援護者に必要な援助を行うため、生活福祉に関する研修会やグループワークでの事例検討を実施した。計 4 回実施。 ・児童委員部会・・・大和綾瀬地域児童相談所や市すくすく子育て課との情報交換会を行い、行政との連携強化を図ったほか、主任児童委員同士の情報交換や研修を行った。計 7 回実施。 ・広報部会・・・委員相互理解を深めるため、民生委員だより「しらかし」を年 2 回発行。計 6 回実施。 <p>【住民福祉を推進していくうえで必要な事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区民児協活動費の交付 <ul style="list-style-type: none"> ○高齢者世帯に対する安否確認を目的とした訪問活動。 ○子育てサロンの開催。 ○低所得者に対する相談援助。 ○地区民児協の研修会。 ○地域住民に対する相談・支援活動。
伊勢原市	<p>【地域福祉活動促進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援事業保育クラブ（保育クラブ運営・地域子育てグループ支援） ・地域施設支援事業（高齢者施設等の支援） ・子育て支援地域交流会（小学校・中学校・保育所における交流会実施） ・高齢者声かけ事業 ・障がい児声かけ事業 ・地区民児協研修会
海老名市	<p>【広報誌発行】</p> <p>広報「ふれあい」を 2 回発行し市内自治会加入世帯、民生委員把握家庭、公共施設等に配布した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第 96 号（令和 6 年 7 月発行） ・第 97 号（令和 6 年 12 月発行）

座間市	<p>(1) 研修事業</p> <ul style="list-style-type: none"> •全体研修会 <ul style="list-style-type: none"> ・講師を依頼し全体研修会を実施。 •会議 <ul style="list-style-type: none"> ・全体研修等に係わる会議を実施。 <p>(2) 実践事業</p> <ul style="list-style-type: none"> •委員会活動 <ul style="list-style-type: none"> 主任児童委員会...会議 6 回 視察研修の実施や毎月第 2・4 土曜日に子育てひろば「よちよち」を開催。 <p>(3) 住民福祉を推進していくうえで必要な経費</p> <ul style="list-style-type: none"> 広報委員会...会議 11 回 ・施設や行事等を取材し、市民児協広報紙「こばと」の発行にあたる。 ・「民生委員児童委員の日」活動強化週間に合わせてパネル展を実施。 ・ふるさとまつり参加事業にて、パネル展を実施。また、来場者に対して、市民児協広報誌「こばと」とバルーンアートを配布。
南足柄市	<p>調査・研究事業</p> <p>避難行動要援護者実態調査</p> <p>(高齢者部会) 情報交換会、施設訪問</p> <p>(障がい者部会) 情報交換会、特別支援学校視察研修</p> <p>(子ども部会) 情報交換会、自立援助ホーム視察研修 ()</p> <p>(主任児童委員部会) 関係機関との情報交換会、自立援助ホーム視察研修 ()</p> <p>() 子ども部会・主任児童委員部会の共同開催</p> <p>研修事業</p> <p>(障がい者部会) 障害者施設模擬店協力、社会福祉協議会ボランティア養成講座受講</p> <p>実践事業</p> <p>(岡本地区高齢者部会) 一人暮らし高齢者へ年賀状発送</p> <p>(中央地区高齢者部会) 80 歳以上の一人暮らし高齢者全員へ花の鉢プレゼント</p> <p>(主任児童委員部会) 新生児訪問事業</p> <p>住民福祉を実践していくうえで必要な事業(民生委員 P R・その他奉仕事業等)</p> <p>(主任児童委員部会) 3 ヶ月児・1 歳 6 ヶ月児・3 歳児健診時『子育て応援します』パンフレット配布、子育てサロン協力、なかよしフェスタの開催準備</p> <p>感染拡大予防のため、老人保健施設等支援活動は中止</p> <p>○(子ども部会、主任児童委員部会)</p> <p>「なかよしフェスタ」イベント開催</p>
綾瀬市	<p>【研修事業】</p> <p>1 全体研修会の開催</p> <p>問題別のテーマを設定し、専門講師による講義等を実施した。</p> <p>年 3 回</p> <ul style="list-style-type: none"> 6 月・日帰り視察研修 11 月・講演会 1 月・事例発表会 <p>【研究事業】</p> <p>1 理事会の開催</p> <p>毎月 1 回理事会を開催し、民児協の運営方法、各種事業への取組等協議・検討を行い、組織活動の充実を図った。</p> <p>2 各地区における研究・活動</p> <p>地域の福祉ニーズを的確に把握し、その特徴にあった独自の活動を展開した。</p> <p>【実践事業】</p> <p>委員会(研修委員会、広報委員会、主任児童委員会)による専門的な特性を生かした各種の関連事業を実施し、地域福祉向上を図った。</p>

愛川町	<p>【地区別研修事業<地区民児協活動>】 地区ごとに会議等を開催し、地区の要援護ケースの事例研究や活動報告などの情報交換を行った。</p> <p>【専門別研究事業<専門部会活動>】 各部会（児童福祉、高齢者福祉、障害者福祉の3部会）及び主任児童連絡会等により、会議や研修会などを開催し、専門知識の修得と研修を行った。 その他自主活動として、地域の民生委員及び活動内容を紹介するため、広報誌を作成し、周知を図った。</p> <p>【モニター事業】 ねたきり高齢者、認知性高齢者、ひとり暮らし高齢者などの世帯を訪問し、本人をはじめ、家族等の実態やニーズの調査及び把握を行った。</p>
清川村	<p>【訪問活動事業】 各担当地区内の要援護者等に対する訪問活動及び他団体が実施する事業への賛助活動</p>
葉山町	<p>【研修事業】 全体研修... 6月19日 民生委員児童委員全員を対象とした研修の実施 場所：JAXA（相模原 キャンパス） 参加者：31名 決算額：298,700円 全体研修...10月9日 民生委員児童委員全員を対象とした研修の実施 場所：東京 大空襲・戦災資料センター 参加者：30名 決算額：291,200円</p>
寒川町	<p>【地区事業】 南部 地区定例会・地区研修・町外研修（計5回） 報告・協議及び情報交換等/「対象者把握一覧表」の対象者支援共有について（グループ討議）/障がい者就労施設「八天堂きさらづ」視察研修/各地域での事例について意見交換/普通救命講習/一年間の活動を振り返って 中部 地区定例会・地区研修・町外研修（計5回） かわさきエコ暮らし未来館、赤十字情報プラザ視察/防犯、詐欺等について/行政相談員について/生活福祉資金について/一年を振り返って、次年度予算案、事業案 北部 地区定例会・地区研修・町外研修（計5回） 報告、協議、依頼事項/視覚障がい者の講話/防災講演/施設見学/あなたはなぜ民生委児童委員活動を行っているか（グループワーク）/反省会、次年度計画について</p> <p>【部会事業】 児童部会（12回） ・講習会：地域と手をつなぐ学校教育（町の出前講座を利用） ・学校訪問：小谷小学校 ・学校見学（学校へ行く週間を利用）：寒川東中学校、寒川中学校、旭が丘中学校 ・児童クラブ見学：寒川小学校あおぞらクラブ、小谷小学校げんきっ子クラブ、南小学校星の子クラブ ・研修会：子ども虐待死の事例から学ぶこと（母子福祉研修会） ・部会：令和6年活動報告・決算、令和7年活動計画・予算案について 高齢者部会（4回） 研修：資料並びにビデオ視聴による理解促進、情報交換、共有、親睦会 ・認知症を取り巻く現状について ・老人介護施設の一日について ・日本と世界の介護事情について 会議：一年の振り返り反省会と次年度の活動について 障がい者部会（7回） ・研修：施設見学と活動状況を学ぶ ・地域行事協力：福祉活動センターまつり参加（手伝い、協力）</p>

<p>寒川町 (続き)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強会：自閉症スペクトラム症について ・体験学習：ローリングバレーボールの見学と参加 ・部会：一年間の振り返りと反省、次年度活動計画・予算の承認 編集部会（9回） <ul style="list-style-type: none"> ・広報誌の内容検討・資料収集・原稿作成・企画書提出・校正・印刷手配等（ほっこり通信 No.8、SMJK Vol.14） ・ふれあい福祉フェスティバル（ほっこり通信 No.8 配布） ・定例会（SMJK Vol.14 発行） 主任児童委員部会 <ul style="list-style-type: none"> ・子育てひろば 毎月1回（3か所） 保健師による計測と相談の受付、お母さんと赤ちゃんの遊び場の提供 ・子どもサポートネットワーク会議 偶数月：学齢児乳幼児合同部会 奇数月：乳幼児援助活動ミーティング ・父親・母親教室 年5回 主任児童委員のPR ・子どもの安心安全を見守る推進委員会 年1回 ・学校運営協議会 年2～3回（各小中学校） ・青少年問題協議会 年2回 ・子どもサポートネットワーク会議代表者会議 年1回 ・子育て関連施設、相談支援事業所合同ワークショップ 年1回 ・子ども子育て会議 年2回 ・主任児童委員活動推進会議 年1回 ・2部会研修 11月29日（学校給食センター見学） ・苦情解決体制第三者委員会 年2回 ・乳幼児施設団体連絡協議会 年1回 ・ブック・スタート 年2回（絵本の読み聞かせ） ・卒業式 3月（各小・中学校へ列席） ・子どもと扉 6月10日（施設見学） ・部会 8月・2月（活動の確認と分担決め）
<p>大磯町</p>	<p>【福祉活動事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主事業 <ul style="list-style-type: none"> 活動強化週間（パネル展示）5月 高齢者宅への個別訪問 5月から3月 大磯町民生委員児童委員たより 年1回発行 ・研修会 <ul style="list-style-type: none"> 普通救命講習会 7月 講演研修 2月 事例発表会 7月・1月 ・町障害福祉事業協力 <ul style="list-style-type: none"> 横溝記念まつり参加（パネル展示、バザー）10月 ・町福祉事業協力 <ul style="list-style-type: none"> 敬老祝金品配布協力 9月 ・町子育て支援事業協力 <ul style="list-style-type: none"> こんにちは赤ちゃん事業 通年 にこにこ子育て応援団 通年 ・委員会活動 <ul style="list-style-type: none"> 企画運営委員会 月1回開催（計12回） 広報委員会 展示パネル作成、たより作成等（計6回） 防災委員会（計3回）町訓練に併せて安否確認訓練実施 ・部会活動 <ul style="list-style-type: none"> 高齢者部会 研修等5回 児童部会 研修等10回 障がい者部会 研修等10回 地域福祉部会 研修等6回、社会を明るくする運動

<p>二宮町</p>	<p>【啓発事業】 啓発活動 二宮町ふれあい福祉のつどい等で使用する啓発物品の購入</p> <p>【研修事業】 全体 日時 令和6年5月10日(金)13:00~14:45 場所 二宮町町民センター 2Aクラブ室 内容 「民生委員児童委員活動と個人情報保護」 講師 駒沢大学 文学部 川上富雄 教授 日時 令和6年6月18日(火) 場所 デンマーク牧場福祉会(静岡県袋井市) 内容 児童養護施設、特別養護老人ホーム、障がい者の就労支援等の見学</p>
<p>中井町</p>	<p>【研修事業】 勉強会 9月 社会福祉協議会事業の内容理解・包括支援センターの役割 10月 足柄上ブロック大規模研修会 テーマ「災害と民生委員児童委員の活動について」 1月 終活支援「中井町エンディングノート」</p> <p>【調査・研究・実践事業】 部会活動 ・高齢・障がい福祉部会 ...情報誌の発行 3回 学習会 「8050問題」DVD視聴・意見交換会 ・児童福祉部会 ...定例会(7回)、ブックスタートへの参加協力(6回) 小学校事業への参加協力(26回)、未就園児の会行事に参加協力(3回)等</p> <p>地区活動 ・中村上地区 ...定例会(5回)、施設視察研修(1回) ・中村下地区 ...定例会(4回) ・井ノ口地区 ...定例会(6回)、自治会連合会との合同懇談会(1回)</p> <p>主任児童委員活動 ...赤ちゃん訪問(11回)、産後ケア事業(8回)、会議・研修会(7回)</p>
<p>大井町</p>	<p>【会議・研修】 全体研修 ・防災について ・フレイル予防 食生活編 ・ケアラー、ヤングケアラー研修会 ・ケアマネージャーとの情報交換会 ・教育委員会との情報交換会</p> <p>グループワーク ・活動記録の記入について ほか ・定例会や部会活動の内容について 視察研修(福島県いわき市) ・いわき震災伝承みらい館見学および語り部講話・被災地案内</p> <p>【実践活動】 高齢者部会...学習会、施設見学(地域密着型特養・小規模多機能・グループホーム) 障がい者部会...学習会、施設見学(就労継続支援B型、グループホーム) 児童部会...学習会、施設見学(こども園、子育て支援センター) 小学校訪問...夏季休暇中に町立の3つの小学校を訪問し、教員と情報交換 松田町民児協との交流会...弁護士による個人情報に関する合同研修</p>

<p>松田町</p>	<p>【管理運営費】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 会議 年次総会、定例会（12回）、役員部会長会議（1回） 本部役員会（12回） 2. 旅費 県民児協、県社協その他各研修会等への参加 3. ボランティア事故共済保険加入 <p>【活動費】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 分野別専門部会（高齢者、児童、障がい児者）、地域部会（第1～第4） それぞれの分野別共通の課題の事例検討、情報交換、研修、支援活動等 2. 担当地域の要援護者、要見守り対象者の実情把握、調査の再点検（特に災害時、要支援対象者の対策のため、自治会等と協力して災害時支援体制の確立を図る。） 3. 全体研修会の実施（防災食講座、HUG訓練、日帰り研修会等） 4. 町福祉事業への協力 小地域福祉活動への協力 町表彰式・賀詞交換会等への協力 5. 町社協事業への協力 賛助会員勧誘及び会費徴収活動、共同募金法人向け募金活動 健康福祉センターまつりへの協力（民児協の主な活動紹介） 6. その他関連機関・施設への支援活動 児童・生徒の見守り活動、こどもの館行事への支援活動 社会福祉協議会行事への支援活動、町内施設へのボランティア活動
<p>山北町</p>	<p>【研修事業】</p> <p>救護及び救急救命講習会（8月8日） 小田原消防より講師を招き、心肺蘇生法等の講習を受けた交流会（8月8日） グループに別れて、テーマに沿っての話し合いを実施した各部会（児童部会、奉仕部会等）検討会 各部会において対処法等の検討会を実施した 町外視察研修（11月21日） 防災知識向上のため、静岡県地震防災センターへの視察を実施した 児童福祉施設等視察研修【中止】</p> <p>【調査事業】</p> <p>世帯調査（4月1日基準） 避難行動要支援者制度調査 緊急時の連絡先調査（対象65才以上） 見守り対象者実態調査（対象者把握）</p> <p>【実践事業】</p> <p>町内の幼稚園、保育園、こども園、小学校等への奉仕活動 各地域福祉協議会行事への協力 町内各行事（「青少年健全育成大会」「キッズフェスティバル」）等の参加協力） 心配ごと相談（月1回）</p>
<p>開成町</p>	<p>【研修事業】</p> <p>民児協研修 施設見学研修 定例会研修会 県民児協等主催の各種研修会へ参加および福祉施設等の視察研修・動画やリモート視聴での研修を実施した。 高齢・障がい・児童・広報部会を設置し、研修会や施設見学を実施した。</p> <p>【実践活動】</p> <p>ほほえみ通信発行 ふれあいほほえみ事業 ほほえみ通信を発行（年4回） 社協共催による75歳以上の独居および高齢者世帯への弁当配布を通じて、日頃地域との関わりが少ない高齢者の抽出を図った。</p>

<p>箱根町</p>	<p>【研修事業】 県外研修 中止 町内研修 民生委員児童委員の資質向上と見聞を広げるため、研修を実施した。 研修場所：天成園（箱根町湯本） 研修内容：「成年後見制度について」（行政書士による講義） 期 日：令和6年10月30日 参加人数：33名</p>
<p>真鶴町</p>	<p>【研修事業】 研修会参加費 研修費用として 実施日：令和6年10月8日 概 要：地域福祉サービス内容の検定充実強化のため、ロボテラスの見学を企画し、 様々な生活支援ロボットの見学・体験を行い、知識の向上と委員同士の 親睦を深める費用として</p> <p>【実践事業】 ・子育てグループ活動支援 ・こんにちは赤ちゃん訪問事業</p>
<p>湯河原町</p>	<p>【研修事業】 民生委員児童委員の知識の向上を図るため、研修会を開催 ・県民児協等主催の民生委員児童委員研修に参加 ・定例会開催時にミニ研修会を開催 ・西湘ブロック会議主催の研修会に参加 7/23「大規模災害に備える」参加41名 1/30「大規模災害に備える」参加者39名 ・11/8民児協主催による「子育てひろば～すくすくハート～」の開催 21世帯、子育て実行委員15名（湯河原町防災コミュニティセンター） ・民生委員の知識の向上・相互の連携を図る視察研修を開催 6/18 参加28名 深谷市「渋沢栄一記念館、旧渋沢邸」訪問 10/2 参加22名 東村山市「国立ハンセン病資料館」訪問 10/8 参加8名 真鶴町秋の視察研修参加藤沢市「ロボテラス」訪問 ・3/26熱海市民児協交流会（湯河原町宮下会館） 参加23名 災害時等に隣接した熱海市と協力体制をとれるように、令和4年度より、日常から熱海市民児協との交流を図ることとした。</p> <p>【調査事業】 要援護者等の把握・サービス提供対象者の調査 ・対象世帯（生活保護世帯・寝たきり老人・ひとり暮らし老人・老人夫婦世帯・ 在宅重度障害者・母子父子世帯・要保護準要保護児童等）の調査</p> <p>【実践事業】 ・心配ごと行政相談室（毎月10日・20日）に協力 行政相談員、人権擁護委員、法務局と協力し、3人1組の当番制で住民の相談に応じた。 ・敬老のつどい（9/14）における記念品の配布と案内 ・社会福祉協議会に協力し、湯河原駅前等で共同募金街頭運動を実施（10/1）参加11名 ・年末慰問金の配布（12/10～12/31）要援護者等に町からの慰問金を個別配布 ・福祉タクシー券の配布（3/11～4/10） 在宅重度障害者（1～3級）に福祉タクシー券を個別配布</p>

地域福祉活動促進費交付額一覧 (単位：円)

横須賀市	1,168,000	大和市	554,000	大磯町	119,000
平塚市	841,000	伊勢原市	309,000	二宮町	108,500
鎌倉市	464,000	海老名市	328,500	中井町	75,500
藤沢市	1,040,000	座間市	309,000	大井町	96,500
小田原市	769,000	南足柄市	152,500	松田町	98,000
茅ヶ崎市	658,000	綾瀬市	291,000	山北町	95,000
逗子市	189,000	愛川町	142,000	開成町	90,500
三浦市	204,000	清川村	55,000	箱根町	105,500
秦野市	531,000	葉山町	119,000	真鶴町	69,500
厚木市	621,000	寒川町	163,500	湯河原町	119,000
				合計	9,885,500

(2) 民生委員児童委員活動推進事業の指定

民生委員児童委員活動推進事業 経費：676,590円 送金手数料含む

多様化する住民のニーズや地域の福祉課題にそった民生委員・児童委員活動の推進をめざし、計画された意欲ある事業を奨励・普及するため、民児協を指定し、経費を助成した。

助成金額合計：672,080円

地域名	事業名	助成額(円)
海老名市中央地区民児協	民生委員児童委員活動推進事業(PRチラシの作成)	49,280
海老名市南部地区民児協	海老名市南部地区民児協及び茅ヶ崎市松林地区民児協情報交換会	20,000
茅ヶ崎市松林地区民児協	茅ヶ崎市松林地区及び海老名市南部地区民児協交流会	20,000
伊勢原市民児協	伊勢原市民生委員・児童委員全体研修会	40,000
鎌倉市第十地区民児協	「命の大切さを知る紙芝居」の製作	200,000
茅ヶ崎市民児協	茅ヶ崎市民児協及び小田原市民児協交流会	20,000
小田原市民児協	茅ヶ崎市民児協及び小田原市民児協交流会	20,000
綾瀬市民児協	災害対策関連事業(災害対応に係る資料の作成・配布)	250,000
座間市民児協	民生委員活動PR(懸垂幕の作成)	52,800

指定地区民生委員児童委員協議会への助成 経費：201,100円 送金手数料含む

全国互助共励事業の一環として、民児協運営の充実と地域福祉活動の振興を通じて民生委員・児童委員活動の活性化を図るため、2地区を指定し、1地区年額100,000円(国63,000円、県37,000円)の活動費を助成した。

助成金額合計：200,000円(国：126,000円、県：74,000円)

指定期間：令和5年度から令和6年度の2カ年

指定地区民児協の主な活動内容

茅ヶ崎市小和田地区民児協

<会長>山田 恒久

<民生委員数>21名

<世帯数・人口>約7,479世帯 人口約16,750名 一戸建てが比較的多くみられる。
被保護世帯数：75世帯 人員：89人 保護率：約0.5% 高齢化率：22.4%

<取り組んだ重点活動と具体的取組内容>

1. フリースペース開催

小中学生向けに夏休み期間中5日間実施。

地域13団体が協力して開催。子どもとスタッフ合わせて延320人参加した。

2. 香川小前校長國分先生講演会開催

香川小学校での通知表の廃止他の活動内容を地域で聴講。

地域の方達含め63人が聴講した。

3. こどもの居場所 MAP 作成配布

小和田地区とその周辺を対象とした「こどもの居場所 MAP」をこども目線で作成。

こども関連施設を中心として掲載し、6,000部作製した。小中学校他に配布。

4. 推進方法

各テーマに全員が所属し推進。

毎回定例会で全員で実施案、進捗、実績を確認しあった。

<自己評価（成果と問題点）>

成果

1. こどももスタッフも全員が一緒に楽しく過ごせた。安全、安心の対応も実施。来年度以降も継続することを共有した。
2. 香川小学校前校長國分先生の通知表の廃止他の話を聴いて、学校や地域でのこどもの居場所について、地域の方達と一緒に考えることができた。
3. こどもと保護者が、見やすく興味を持てる、見たくなる「とことここわだMAP」が作成できた。

問題点

- ・メンバーの負担が大きかった。
- ・助成金だけでは資金不足だった。

<会合等の開催状況>

1. 定例会議（12回開催）

毎回約30分間テーマ別に打ち合わせを実施

内容：実施案作成、進捗確認、実績確認

2. フリースペース（5回開催）

他団体他与合同で準備会議と反省会を開催

内容：地域の13団体及び有志者が集まって合同で会議を開催。

逗子市東部地区民児協

<会長>坂口 敏子

<民生委員数>19名

<世帯数・人口>約9,245世帯 人口19,275名 高齢化率は34.73%と市内3地区最高

被保護世帯数：179世帯 人員：218人 保護率：約1.13% 高齢化率：34.73%

<取り組んだ重点活動と具体的取組内容>

(ア) 単位民児協の機能強化

地域住民へ向け、地域の相談役としての民生委員・児童委員の存在や活動内容を周知する。

1. 市内で開催されるイベント等でパネルやのぼり旗を設置し、民生委員活動のPR。

10月20日開催「市民まつり」へ出店

7月19日開催「社会を明るくする運動逗葉地区の集い」でのパネル展示。

2. イベントや各種施設への支援、健診等の際に使用するビブス、啓発用のPRグッズを作成、ベストを作成。各種イベントや地域活動の際に使用。民児協名称入りウエットポケットティッシュを製作し、市民まつりで配布。

3. 全戸配布の広報誌にて特集記事を掲載

広報ずし12月号広報に、民生委員紹介記事を掲載

<自己評価（成果と問題点）>

1. 市民まつりでは、民生委員パネル展示、ストラックアウト・輪投げができるゲームコーナー、民生委員クイズとウエットポケットティッシュ等を配布するブースを出店した。190名の来場者が参加し盛況に終わった。地域の相談役としての民生委員を知らない方も多く、継続して周知していく必要があると感じた。
2. 民児協名を印字したベスト、ウエットポケットティッシュを作成した。ウエットポケットティッシュは市民まつりですべて配布。ベストは単位民児協活動のみならず、市民児協の幅広い活動に継続して活用したい。
3. 広報ずしの特集記事では主任児童委員のインタビューを掲載した。記事を見た地域の方からの反響も多く、「広報見たよ」と民生委員に連絡くれた方もおり、交流のきっかけとなった。

< 会合等の開催状況 >

1. 地区定例会（3 回開催）
市民まつりでの取り組み内容の決定
2. 市民まつり準備作業（1 回開催）
折り紙の作成、クイズ作成、グッズ梱包
3. 広報ずし特集記事のための活動取材・インタビュー（2 回開催）
主任児童委員へのインタビューを実施

(3) 地域版活動強化方策の策定支援

地域版活動強化方策の策定にあたり、各地区民児協が計画的にアドバイザーや外部講師の助言・指導を受けるための経費について助成するために令和2年度より支援制度を創設した。

「地域版活動強化方策策定支援助成金」申請なし

「地域版活動強化方策出張講座」申請なし

- (4) ブロック活動の役割の確認と活動強化に向けた支援 経費：724,300円 送金手数料含む
各地域におけるニーズに応じた活動の展開を図るため、県内6ブロックそれぞれが実施する会議、研修会および関係機関との連絡会などをブロックの実状に応じて計画し、県民児協はその開催経費の助成を行なった。

助成金金額合計：721,000円

ブロック名	活動状況
横須賀・三浦 (4市1町) 横須賀市 鎌倉市 逗子市 三浦市 葉山町 幹事地域：三浦市 助成額：0円	会議(3回) 8月20日：第1回ブロック会議 (1)各市民児協における事業について 令和5年度事業報告・決算、令和6年度事業計画・予算 (2)令和6年度横須賀・三浦ブロック会議の活動内容について (3)その他情報交換 1月28日：第2回ブロック会議 (1)神奈川県民児協共通課題について (2)その他情報交換 3月27日：第3回ブロック会議 (1)令和6年度ブロック会議事業報告(案)及び決算(案)について (2)令和7年度ブロック会議事業計画(案)及び予算(案)について (3)その他情報交換 連絡会(1回) 2月18日：児童相談所との連絡会議 (1)各地域における児童の状況 (2)主任児童委員としての役割や児相との連携について (3)その他情報交換
県央 (5市1町1村) 厚木市 大和市 海老名市 座間市 綾瀬市 愛川町 清川村 幹事地域：綾瀬市 助成額：161,000円	会議(6回) 5月28日：第1回県央ブロック会議 (1)令和5年度事業報告及び収入支出決算報告について (2)令和6年度事業計画(案)及び収入支出予算(案)について (3)研修会(案)について (4)その他 6月18日：海老名市北部地域と座間市第六地域の情報交換会 海老名市中央地区と座間市第一地区の情報交換会 (1)活動内容紹介、情報交換等 9月26日：第2回県央ブロック会議 (1)市町村民児協活動の情報交換について、(2)その他 1月23日：第3回県央ブロック会議 (1)市町村民児協活動の情報交換について、(2)その他 1月23日：主任児童委員情報交換会 (1)児童委員活動の情報交換について、(2)その他

<p>県央 (5市1町1村) (続き)</p>	<p>3月7日～3月31日：第4回県央ブロック会議 書面審議 (1)令和6年度事業報告について (2)令和7年度事業計画(案)について (3)その他 研修会(2回) 7月25日：県央ブロック会議小規模研修会 テーマ：「成年後見制度について」 講師：安部 巖 氏(社会福祉法人綾瀬市社会福祉協議会) 2月28日：県央ブロック会議大規模研修会 テーマ：「災害に備える委員同士の支え合いを考える」 講師：川上 富雄 氏(駒澤大学 文学部社会学科 教授) 連絡会(1回) 1月23日：児童相談所との連絡会 (1)児童相談所の現状と課題について、(2)その他</p>
<p>湘南東 (2市1町) 藤沢市 茅ヶ崎市 寒川町 幹事地域：寒川町 助成額：126,000円</p>	<p>会議(3回) 5月29日：第1回湘南東ブロック会議 (1)令和6年度全体研修会について (2)その他 ・各市町における民生委員児童委員の日活動強化週間の活動報告 ・各市町における緊急時、災害時に関する取り組みの情報交換 8月28日：第2回湘南東ブロック会議 (1)令和6年度全体研修会について (2)令和7年度一斉改選に向けた取り組みについて (3)児童委員と主任児童委員との連携体制について 3月26日：第3回湘南東ブロック会議 (1)令和6年度全体研修会について (2)令和7年一斉改選の推薦状況について (3)SOSネットワーク事業について (4)令和7年度事業計画(案)について</p>
<p>湘南西 (3市2町) 平塚市 秦野市 伊勢原市 大磯町 二宮町 幹事地域：二宮町 助成額：130,000円</p>	<p>会議(2回) 7月31日：第1回湘南西ブロック会議 (1)令和6年度 年度計画 (2)提案議題に係る意見交換 3月11日：第2回湘南西ブロック会議 (1)令和6年度事業報告 (2)令和6年度決算報告 (3)提案議題に係る意見交換 (4)令和7年度 幹事 研修会(1回) 11月19日：研修会 テーマ：「災害に備える民生委員児童委員としての活動～住民や地域、他機関との連携について～」</p>
<p>足柄上 (1市5町) 南足柄市 中井町 大井町 松田町 山北町 開成町 幹事地域：南足柄市 助成額：174,000円</p>	<p>会議(7回) 4月24日：第1回・ブロック会議 (1)令和5年度事業・決算報告 (2)令和6年度事業計画 (3)民児協交流会の組み合わせ検討 (4)県西地域青少年社会環境健全化推進活動への参加・出席について 6月12日：大井町/松田町 民児協交流会 ・下記の研修会を合同で開催し意見交換及び情報交換を行った。 テーマ：民生委員児童委員活動における守秘義務と個人情報保護 講師：内嶋順一 弁護士 10月9日：南足柄市中央地区/松田町 民児協交流会</p>

<p>足柄上 (1市5町) (続き)</p>	<p>(1) 認知症に関する映画を視聴 ボケますから よろしくお願ひします 第2弾 ~おかえりお母さん~</p> <p>(2)7グループに分かれ意見交換 (3)グループ発表</p> <p>11月25日:第2回ブロック会議 (1) 民児協交流会の報告、開催予定 (2) 関東ブロック民児協研究会出席報告 (3) 全国民生委員児童委員大会出席報告 (4) 小規模研修会の開催内容について</p> <p>2月28日:南足柄市岡本地区/開成町/ 民児協交流会 (1) 各ミンジ協の代表的な活動内容紹介 (2)7グループに分かれ各地区の活動について意見交換した。 (3)昼食時もグループメンバーで懇談しながら食事をとった。 (4)閉会の挨拶を行い解散した。</p> <p>3月19日:上ブロック会長会議 (1)令和6年度上ブロック民児協活動内容についての反省・意見交換 (2)令和7年度の研修テーマについて (3)令和7年度の民児協交流会についての組み合わせなど意見交換</p> <p>3月31日:会計監査 ・ 令和6年度の会計監査</p> <p>研修会(2回)</p> <p>10月29日:大規模研修会 講演 テーマ:「災害と民生児童委員の活動について」 講師:防衛大学校 准教授:加藤 健 人文社会科学群 公共政策学科 所属</p> <p>2月27日:小規模規模研修会 (1)各民児協から児童委員・主任児童委員活動内容紹介 (2)児童委員・主任児童委員と学校の連携(R4年度全民児連の資料紹介) (3)研修内容を踏まえ、3グループに分かれ意見交換</p> <p>連絡会(2回)</p> <p>4月24日:第1回小田原保健福祉事務所足柄上センター連絡会 (1)小田原保健福祉事務所足柄上センターの令和6年度の事業概要紹介 (2)チラシについて説明 ・ ライフコースアプローチで特に気を付ける3つのステージについて ・ フレイルを予防しよう</p> <p>7月10日:令和6年度県西地域青少年社会環境健全化推進会議 足柄上地区部会 (1)県西地域青少年社会環境健全化推進事業などについて (2)薬物乱用防止の取り組みについて (3)足柄上地区管内の青少年非行などの状況について (4)児童虐待防止の取り組みについて</p>
<p>西湘 (1市3町) 小田原市 箱根町 真鶴町 湯河原町</p> <p>幹事地域:湯河原町 助成額:130,000円</p>	<p>会議(3回)</p> <p>5月8日:令和6年度第1回西湘ブロック会議 (1)令和6年度事業計画(案)及び収支予算(案)について (2)第1回研修会について (3)情報交換・意見交換</p> <p>10月22日:令和6年度第2回西湘ブロック会議 (1)第2回研修会について (2)次年度の役員について (3)情報交換・意見交換</p> <p>3月18日:令和6年度第3回西湘ブロック会議 (1)令和6年度事業報告及び会計報告について</p>

西湘 (1市3町) (続き)	(2)令和7度西湘ブロック会議の運営について (3)令和7年度第一回研修会について (4)情報交換・意見交換 研修会(2回) 7月23日：令和6年度第1回西湘ブロック研修会 テーマ：「大規模災害に備える」 講師：馬淵 貴史 氏(湯河原町地域政策課 防災係長) 1月28日：令和6年度第2回西湘ブロック研修会 テーマ：「主任児童委員制度30年 ~児童委員と主任児童委員のさらなる連帯強化~」 講師：高橋 久雄氏(福)至誠学舎立川理事 至誠児童福祉研究所所長)
----------------------	--

(5) 民生委員児童委員活動に伴う保険加入促進助成事業の実施

経費：1,337,730円 送金手数料含む

民生委員・児童委員が地域での福祉活動等に参加する際に発生する事故や怪我に対して安心して活動できるよう、各市町村民児協で民生委員・児童委員に対しての保険加入を促進するために、掛け金の一部を助成した。

助成金合計 1,320,900円

<助成金交付状況> 人数は延べ人数

市町村名	助成人数(人)	合計額(円)	市町村名	助成人数(人)	合計額(円)
横須賀市	536	160,800	綾瀬市	128	38,400
平塚市	400	120,000	愛川町	64	19,200
鎌倉市	221	66,300	清川村	9	2,700
藤沢市	505	151,500	葉山町	49	14,700
小田原市	334	100,200	寒川町	71	21,300
茅ヶ崎市	321	96,300	大磯町	51	15,300
逗子市	0	0	二宮町	44	13,200
三浦市	72	21,600	中井町	25	7,500
秦野市	249	74,700	大井町	39	11,700
厚木市	295	88,500	松田町	35	10,500
大和市	262	78,600	山北町	38	11,400
伊勢原市	141	42,300	開成町	35	10,500
海老名市	155	46,500	箱根町	45	13,500
座間市	143	42,900	真鶴町	21	6,300
南足柄市	60	18,000	湯河原町	55	16,500
			合計	4,403	1,320,900

(6) 生活福祉資金の活用、社協との協働の促進

低所得者や障がい者、高齢者等の自立支援に向けて生活福祉資金貸付制度の活用につながるよう、役員会で制度説明の機会を設け、市町村民児協事務局への情報提供等を行った。

また、民生委員を対象に県社協が実施した新任研修や会長部会長研修、テーマ別研修、活動推進会議等への参加協力を行った。

3. 児童委員活動の推進（基盤づくり） 経費：590,360円

(1) 主任児童委員連絡会議の開催

主任児童委員を対象に、参加者間で日頃の活動の様子や課題を共有し、今後の活動に資することを目的として本連絡会を開催した。

開催期日	内 容
6.9.25 (45名) 神奈川産業振興センター	講義：「主任児童委員に求められる役割とは～主任児童委員制度31年目に向けて」 講師：泉谷 朋子氏（聖隷クリストファー大学 准教授） 意見交換

(2) 児童委員・主任児童委員活動推進会議の開催

県内の児童委員、主任児童委員が集い、児童委員活動推進に向けて協議を行う児童委員・主任児童委員活動推進会議を開催した。

開催期日	内 容
6.12.26 会場 49名 かながわ県民センター 動画視聴 525名	・ 講義 児童委員・主任児童委員連絡会議の振り返り / 学校と児童委員・主任児童委員の関わりについて / スクールソーシャルワーカーとは 講師 泉谷 朋子氏（聖隷クリストファー大学 准教授） ・ 報告「より良い連携をするために スクールソーシャルワーカーを知ろう」 報告者 矢田 智宏氏（県立高等学校スクールソーシャルワーカー） ・ 協議 児童委員・主任児童委員と学校の関係づくり

4. 研修事業の実施（本会主催研修事業） 経費：1,569,714円

本会事業から見てきた課題をもとに研修テーマを設定し、本会主催の研修を開催した。

(1) 市町村民児協会長研修会

開催期日	内 容
6.10.17 (28名) 箱根路 開雲	「次期一斉改選を視野に入れた市町村民児協の取り組みについて」 ・ 課題提起 『大和市民まつり民生委員認知度アンケート調査から見た課題について』 村上 法芳氏（大和市民児協会 会長） 『民生委員児童委員のなり手を増やすワーキンググループ会議について』 千代 美和子氏（鎌倉市民児協会 会長） ・ グループでの情報交換・全体共有

(2) 単位民児協会長研修会

開催期日	内 容
第1回 6.6.28 (単位民児協会長・事務局職員 137名)	「支援に繋がらず孤独・孤立状態にある方への対応について」 孤独・孤立状態ってどんな状態 / 支援に繋がらず孤独・孤立状態と思われる要因 / 孤独・孤立を防ぐために 講師：山中 達也氏（山梨県立大学 准教授）
第2回 7.3.28 (単位民児協会長・事務局職員 138名)	「やさしい日本語でみんなにやさしいコミュニケーション」 やさしい日本語とは / やさしい日本語にするためのポイント / やさしい日本語にしてみよう 講師：村上 まさみ氏（早稲田大学日本語教育研究センター 非常勤講師）

(3) 課題別集中講座

開催期日	内 容
6.6.27 (161名) 小田原お堀 端コンベン ションホー ル	「認知症の人と家族を地域で支えるために」 ・講義 認知症と診断された方が地域で生活する際に望むこと / 認知症の方やご家族を孤立させないことの大切さ等 講師：小松 理佐子 氏(日本福祉大学 副学長) ・報告 認知症の症状、ご家族や地域の支えについて / ご本人、ご家族の生きがいや困りごと等 報告者：三橋 良博 氏(認知症の人と家族の会神奈川県支部 副代表) ・質疑・講師からのまとめ

(4) 地域版活動強化方策策定支援研修会

開催期日	内 容
7.2.7 (28名) 神奈川歯科大 学附属横浜研 修センター	・講義「活動強化方策とは」 段階別「活動強化方策」と役割 / 活動強化方策策定の意味等 講師：中村 美安子 氏(神奈川県立保健福祉大学教授) ・実践報告「地域版活動強化方策の策定に向けた取り組みについて」 報告者 【横須賀市】白井 幸江 氏(市民児協会長 / 長井地区民児協会長) 君島 富美江 氏(市民児協副会長 / 久里浜第2地区民児協会長) 加藤 光子 氏(久里浜第1地区民児協会長) 川村 和子 氏(北下浦地区民児協会長) 【寒川町】森井 順子 氏(町民児協会長 / 北部地区民児協会長) 小西 悦子 氏(町民児協副会長 / 南部地区民児協会長) 柏木 翔 氏(町民児協事務局) ・演習「地域版活動強化方策を策定してみよう」 ワークシートを用いたグループワーク ・研修全体の振り返り・まとめ

5. 情報提供の強化

- (1) 『県民児協だより』の発行 経費：2,378,415円
『県民児協だより』(157号～160号)を発行し、発行に向け広報委員会を4回開催した。
(1.(2) 「広報委員会」、「通信員連絡会」の項参照)
<発行回数及び部数> 4回 各5,000部
<配布先> 民生委員・児童委員、関係機関団体等
<掲載内容>

号数	コーナー名	掲載内容
157号	まなざし	葉山町民児協
	特集	児童委員活動を振り返ろう！～主任児童委員制度創設30周年を迎えて～
	特集	令和6年度県民児協 事業計画・予算
	特集	民生委員・児童委員、主任児童委員の皆様へ～神奈川県所管課より～
	NEWS&インフォメーション	令和6年度「民生委員・児童委員の日 活動強化週間」取り組み報告
	通信員だより	(1) 地域の連携でお年寄りを笑顔に(秦野市 小澤 みつ江) (2) 笑顔と「ありがとう」が広がるこのまちに(海老名市 米田 光太郎) (3) 部会制としての活動について(開成町 熊澤 喜久恵)
158号	まなざし	寒川町民児協
	特集	災害に備えた民生委員・児童委員活動～もしものための平時の取り組み～
	活動研究レポート52	「活動強化方策」策定中！～横須賀市のこれからのに向けて～活動のヒント・ポイント：中村 美安子 氏(神奈川保健福祉大学 教授)
	NEWS&インフォメーション/編集雑感	・第84回関東ブロック民生委員児童委員活動研究協議会 ・編集雑感(広報委員 小林 美幸)
通信員だより	(1) 民生委員・児童委員の活動をPR(逗子市 竹見美佐子) (2) 新任委員とともにこれからも(伊勢原市 菅 重男) (3) 民生委員とケアマネジャーとの交流会(山北町 加藤 君江)	
159号	まなざし	大磯町民児協
	特集	もっと民生委員を知ってもらおう
	ひとネットワーク	3団体で地域の食を支える
	解説	令和6年4月以降に施行された制度改正の内容
	NEWS&インフォメーション	・令和6年度児童委員・主任児童委員連絡会議 ・令和6年度課題別集中講座
	通信員だより	(1) 高齢者の長寿をお祝いして(藤沢市 今福 民生) (2) 学び、交流できる研修会(綾瀬市 堀 誠) (3) 私達は子育てサポーター(中井町 西尾 美嘉子)
160号	まなざし	二宮町民児協
	特集	令和6年度受章(賞)者紹介
	活動研究レポート53	ファイリングで資料整理をわかりやすく！～座間市民児協の取り組み～
	ひとネットワーク	街中のカフェで認知症について考える
	NEWS&インフォメーション	第93回全国民生委員児童委員大会
	通信員だより	(1) 「やさしさ広がれ」ふれあいフェスティバル(横須賀市 丸茂 喜久代) (2) 出会いと経験そして友(南足柄市 石川 京子) (3) 笑顔あふれて(箱根町 勝俣 昌子)

また、県民児協だよりに挟み込む形で別刷りの資料を作成し、配布した。

- ・神奈川県民児協データファイル No34(県民児協だより160号に挟み込み)
「令和5年度活動記録の集計結果について」
- ・神奈川県民児協データファイル No35(県民児協だより160号に挟み込み)
「令和6年度個別援助票集計結果概要の報告」

(2) 民生委員・児童委員活動の広報の強化 経費：2,018,705円

民生委員・児童委員活動PR事業

(ア) PR動画(CM)の活用

家族の介護や子育て等、これまでの人生経験から得たスキルや視点が民生委員・児童委員活動に活かすことができることを伝え、なり手確保につなげるためのPR動画を活用した。
また、令和7年5月の「民生委員・児童委員の日 活動強化週間」でのPRに向けて、動画共有サイトYouTubeやデジタルサイネージ等で配信するための準備を進めた。



(イ) PRグッズの作成・配布

各地域でPR活動等に活用できるよう、神奈川県民児協キャラクター「みんぴょん」をモチーフにしたPRグッズを配布した。

(ウ)「民生委員・児童委員からのメッセージ」の活用

神奈川県民児協ホームページで展開するコンテンツ「民生委員・児童委員からのメッセージ」において、民生委員・児童委員になったきっかけややりがい、活動していくうえで大切にしていること等について広く発信した。



県民児協ホームページ等の運営

ホームページを令和3年度にリニューアルし、写真や動画で分かりやすく伝えるために「県民児協だより」等の掲載を随時更新するとともに、委員専用ページへのパンフレットやみんぴょんデータ、研修資料の掲載、関連団体の研修情報を掲載する等様々な活用を行った。
また、市町村・地区民児協からのお知らせページについて、市町村民児協事務担当者会議にて掲載方法等の説明を行い、地域の広報誌やイベント等の情報を掲載し、情報発信ツールの1つとしての活用を図った。その他、全民児連や全社協、県等の関係機関団体より民生委員・児童委員を対象に発行された資料等を市町村民児協を通じ、随時、情報として提供した。

研修用DVD等研修資料の整備

各地区民児協の研修、学習会等の教材として役立つ書籍やDVDを購入・貸出用として整理し、各市町村民児協事務局を通じて貸出を行った。貸出件数：3件

PR用ビブスの貸し出し

民生委員・児童委員PR用のビブスについて、市町村民児協事務局を通じて貸出を行った。貸出件数：1件

県社協「福祉タイムズ」連載への協力

令和6年度県社協の広報紙「福祉タイムズ」の連載「キラリ輝く！児童委員活動～主任児童委員制度30周年を迎えて」の発行に向けた県内主任児童委員への執筆依頼等をおし、児童委員活動のPRの一助とした。

6. 全国・関東ブロック会議等への参加 経費：1,893,548円

年月日	会議名	開催地	参加者数
6.11.20～21	令和6年度全国民生委員児童委員大会 ・式典、全民児連会長表彰、特別講義、活動交流集会・シンポジウム	宮崎県 宮崎市	14名
6.7.18～19	令和6年度関東ブロック民生委員児童委員活動研究協議会 ・式典、全体会、記念講演、分科会協議	静岡県 沼津市	10名
6.8.22～23	令和6年度全国児童委員・主任児童委員活動研修会 ・行政説明、講義、実践発表、分散会	千葉県	3名
6.10.17～18	令和6年度全国民生委員・児童委員リーダー研修会 ・行政説明、事業説明、講義、実践発表	東京都	3名
7.2.5～7	令和6年度全国民生委員指導者研修会 ・行政説明、事業説明、講義、人権学習、講義・演習	神奈川県	2名
6.6.13～14	令和6年度都道府県・指定都市民児協事務局会議 ・行政説明・事業説明、情報交換会、グループ討議	東京都	2名

7. 関連機関・団体との連携、協働

(1) 県社会福祉審議会、県児童福祉審議会をはじめとした県関係の高齢・障がい・児童等の福祉関係の審議会や委員会等のほか、神奈川県共同募金会などの関係団体の会議等に参加・協力した。また、北方領土返還要求運動神奈川県民会議に負担金を納め、事業への協力を行った。

(2) 神奈川県・横須賀市からの委託事業として県社協が実施する研修事業の開催に協力した。これらは、民生委員法に基づく民生委員の指導訓練のために行政機関が行う研修となっている。

新任民生委員児童委員研修会

新任委員（令和4年12月1日以降に新たに委嘱された民生委員児童委員（主任児童委員を含む）および本研修未受講の民生委員児童委員（主任児童委員を含む）を対象に開催

開催日等	内 容
7.1.21 (76名)	・講義 「民生委員児童委員の役割と心構え」 講師：小林 雅彦氏（国際医療福祉大学大学院 教授）
7.1.28 (34名)	・説明 「生活福祉資金貸付制度について」 説明者：神奈川県社協生活支援課 ・説明 「県民児協事務局からのお知らせ」 説明者：神奈川県民児協事務局 ・先輩委員からのメッセージ：「民生委員児童委員のやりがいと楽しさ」 メッセンジャー：嶋村 真由美氏（座間市第五地区民児協会 会長） 瀬戸 俊彦氏（開成町民児協会 会長） ・講義 「良好な信頼関係を築くためのポイント」 講師：小林 雅彦氏（国際医療福祉大学大学院 教授）

民生委員児童委員会長部会長研修会

単位地区民児協正副会長、各種正副部会長等リーダー層を対象に開催

開催日等	内 容
7.1.24 (96名)	「持続可能な民生委員活動に向けて ～次期一斉改選および活動しやすい環境づくりに向けたリーダー層の役割～」 ・講義 一斉改選に向けてリーダー層として準備すべき事項や引き継ぎのポイント等 講師 小松 理佐子氏（日本福祉大学 副学長） ・講義 活動しやすい環境づくりに向けてハラスメントに係る考え方や対応等 講師 内嶋 順一氏（みなと横浜法律事務所 弁護士）

民生委員児童委員テーマ別研修

開催日等	内 容
7.2.14 (90名)	テーマ別研修 「災害に備える 民生委員児童委員だからできる活動」 ・講義 大災害の現場で民生委員児童委員に求められる活動について、「災害に備える民生委員児童委員活動10カ条」等 講 師：川上 富雄氏（駒澤大学 教授） ・課題提起 委員に求められたことや普段から備えていて役立ったこと等 報告者：平野 常男氏（静岡県磐田市豊岡地区民児協会 会長）
6.12.12 (52名)	テーマ別研修 「怒りの感情の裏には何がある？対人関係を円滑にするアンガーマネジメント」 ・講義 『怒りの感情』の機能と役割/アンガーマネジメント/「衝動・思考・行動」のコントロール法等 ・グループワーク 怒ることのメリット・デメリット/怒った時の第一感情と本当の気持ち等 講 師：田中 貴恵氏（アンガーマネジメントファシリテータ）

- (3) 全民児連分担金として 3,096,100 円を納めた。
- (4) 関東甲信越 1 都 10 県 8 政令市の民生委員・児童委員をもって組織する関東ブロック民生委員児童委員連合協議会会費として 93,180 円を納めた。
- (5) 県社協民生委員児童委員部会に正副会長が委員として参画した。また、県社協民生委員児童委員部会より、令和 6 年度民生委員児童委員部会活動助成費として 775,000 円が交付された。

決 算 報 告

令和6年度 神奈川県民生委員児童委員協議会収入支出決算書(案)

自 令和6年4月1日
至 令和7年3月31日

収入決算額 40,434,835 円

支出決算額 38,771,479 円

差引残額 1,663,356 円 (次年度へ繰越)

(収入の部)

(単位 円)

大区分	科目		当初予算額 ①	補正額 ②	予算現額 ③(①+②)	決算額 ④	差引増減 (③-④)	説明
	中区分	小区分						
1. 会費			28,886,000	0	28,886,000	28,749,500	136,500	
	1. 会費		28,886,000	0	28,886,000	28,749,500	136,500	
		1. 会費	28,886,000	0	28,886,000	28,749,500	136,500	年会費(6,500)×実数 28,749,500
2. 補助金			9,883,000	0	9,883,000	9,430,900	452,100	
	1. 補助金		5,247,000	0	5,247,000	4,980,000	267,000	
		1. 補助金	5,247,000	0	5,247,000	4,980,000	267,000	神奈川県 4,053,000 横須賀市 927,000
2. 神奈川県委託費			0	0	0	0	0	
		1. 神奈川県委託費	0	0	0	0	0	
3. 全社協助成金			3,885,000	0	3,885,000	3,675,900	209,100	
		1. 全国互助共励事業助成金	3,885,000	0	3,885,000	3,675,900	209,100	互助事業費補助 1,825,000 共励事業費補助 524,000 取扱事務費補助 1,326,900
4. 県社協助成金			751,000	0	751,000	775,000	△ 24,000	
		1. 民生委員部会助成金	751,000	0	751,000	775,000	△ 24,000	

3. 諸収入	39,000	0	39,000	54,435	△ 15,435	
1. 雑収入	39,000	0	39,000	54,435	△ 15,435	
1. 物資幹旋収入	9,000	0	9,000	0	9,000	
2. 雑収入	30,000	0	30,000	54,435	△ 24,435	預金利息等
4. 積立金取崩収入	2,927,000	0	2,927,000	0	2,927,000	
1. 積立金取崩収入	2,927,000	0	2,927,000	0	2,927,000	
1. 退任記念品取崩収入	107,000	0	107,000	0	107,000	
2. 一斉改選積立金取崩収入	0	0	0	0	0	
3. 運用準備積立金取崩収入	2,820,000	0	2,820,000	0	2,820,000	
5. 繰入金	10,000	0	10,000	0	10,000	
1. 繰入金	10,000	0	10,000	0	10,000	
1. 基本財産繰入金	10,000	0	10,000	0	10,000	
6. 繰越金	2,200,000	0	2,200,000	2,200,000	0	
1. 繰越金	2,200,000	0	2,200,000	2,200,000	0	
1. 前年度繰越金	2,200,000	0	2,200,000	2,200,000	0	
収入合計	43,945,000	0	43,945,000	40,434,835	3,510,165	

(支出の部)

(単位：円)

大区分	中区分	科目		当初予算額 ①	補正額 ②	予算現額 ③ (①+②)	決算額 ④	差異 (③-④)	執行率 (④/③)	説	明			
		小区分												
1. 運営費	1. 役員費	1. 役員会費		14,814,000	0	14,814,000	12,981,817	1,832,183	87.6%					
				1,426,000	0	1,426,000	1,227,992	198,008	86.1%					
				1,363,000	0	1,363,000	1,195,987	167,013	87.7%		正副会長会議 常任理事会 理事會 監事會 総務會	27,487 171,075 936,759 22,666 38,000		
				22,000	0	22,000	4,785	17,215	21.8%			正副会長・各種委員会委員等		
				31,000	0	31,000	25,486	5,514	82.2%			大会祝金・慶弔費用		
				10,000	0	10,000	1,734	8,266	17.3%					
				13,388,000	0	13,388,000	11,753,825	1,634,175	87.8%					
				6,000	0	6,000	0	6,000	0.0%					
				520,000	0	520,000	0	520,000	0.0%					
				337,000	0	337,000	73,865	263,135	21.9%				送金手数料、通信運搬費	
				248,000	0	248,000	67,100	180,900	27.1%				会計ソフト管理料	
				10,000	0	10,000	0	10,000	0.0%				参考図書費	
				12,257,000	0	12,257,000	11,612,860	644,140	94.7%				全社協互助共助会費 全市民連会費 関係者会費 県内団体費等	8,403,700 3,096,100 93,180 19,880
				10,000	0	10,000	0	10,000	0.0%					
2. 育成事業費	1. 研修費	1. 研修会費		25,761,000	0	25,761,000	22,556,912	3,204,088	87.6%					
				6,651,000	0	6,651,000	4,053,622	2,597,378	60.9%					
				4,124,000	0	4,124,000	2,160,074	1,963,926	52.4%			市町村民児協会長研修 地区民児協会長研修 課題別集中講座 児童委員活動推進関連事業 活動強化方策策定支援研修会	607,305 434,119 233,669 590,360 294,621	
				10,000	0	10,000	0	10,000	0.0%			全国大会	1,070,909	
				2,527,000	0	2,527,000	1,893,548	633,452	74.9%			関東ブロック活動研究協議会 全国民生委員指導者研修会 全国児童委員活動研修会 民生委員リーダー研修会	531,615 104,386 116,688 69,950	
				10,000	0	10,000	0	10,000	0.0%					
				25,761,000	0	25,761,000	22,556,912	3,204,088	87.6%					
				6,651,000	0	6,651,000	4,053,622	2,597,378	60.9%					
				4,124,000	0	4,124,000	2,160,074	1,963,926	52.4%					
				10,000	0	10,000	0	10,000	0.0%					
				2,527,000	0	2,527,000	1,893,548	633,452	74.9%					
				10,000	0	10,000	0	10,000	0.0%					
				25,761,000	0	25,761,000	22,556,912	3,204,088	87.6%					

2. 調査広報費	4,841,000	4,841,000	4,853,635	△ 12,635	100.3%	
1. 委員会費	692,000	692,000	386,155	305,845	55.8%	総合企画委員会 94,547 広報委員会 161,420 通信員連絡会 130,188
2. 広報活動費	3,999,000	3,999,000	4,397,120	△ 398,120	110.0%	県民児協だより発行費 2,378,415 民生委員児童委員活動PR作成費 1,054,405 HP運営費、広報活動用PCリース料 253,258 情報提供等通信運搬費等 711,042
3. 連絡調整会議費	150,000	150,000	70,360	79,640	46.9%	県行政との懇談会 23,049 児相長との連絡会議費 47,311
3. 地域福祉活動費	14,259,000	14,259,000	13,649,655	609,345	95.7%	
1. 市町村民児協 支援費	9,886,000	9,886,000	9,885,500	500	100.0%	※当該年度の定数を基準に積算
2. 活動推進費	3,641,000	3,641,000	2,886,465	754,535	79.3%	ブロック別活動助成費 724,300 保険掛金助成金 1,337,730 必携購入費 824,435
3. 指定民児協 推進費	732,000	732,000	877,690	△ 145,690	119.9%	指定民協助成 201,100 活動推進事業 676,590
4. 物資斡旋費	10,000	10,000	0	10,000	0.0%	
1. 物資斡旋費	10,000	10,000	0	10,000	0.0%	
3. 互助事業費	3,235,000	3,235,000	3,073,750	161,250	95.0%	
1. 県単互助事業費	1,290,000	1,290,000	1,290,000	0	100.0%	
1. 県単弔慰金	450,000	450,000	550,000	△ 100,000	122.2%	県単弔慰金
2. 県単見舞金	840,000	840,000	740,000	100,000	88.1%	県単見舞金
2. 全国互助事業費	1,838,000	1,838,000	1,666,000	172,000	90.6%	
1. 全国弔慰金	620,000	620,000	710,000	△ 90,000	114.5%	全国弔慰金
2. 全国見舞金	1,218,000	1,218,000	956,000	262,000	78.5%	全国見舞金
3. 退任記念品作成費	107,000	107,000	117,750	△ 10,750	110.0%	
1. 退任記念品作成費	107,000	107,000	117,750	△ 10,750	110.0%	退任記念品作成費
4. 積立金	125,000	125,000	159,000	△ 34,000	127.2%	
1. 積立金	125,000	125,000	159,000	△ 34,000	127.2%	
1. 退任記念品積立金等	105,000	105,000	159,000	△ 54,000	151.4%	退任記念品積立金
2. 運用準備金積立金	10,000	10,000	0	10,000	0.0%	
3. 一斉改選積立金	10,000	10,000	0	10,000	0.0%	
5. 予備費	10,000	10,000	0	10,000	0.0%	
1. 予備費	10,000	10,000	0	10,000	0.0%	
1. 予備費	10,000	10,000	0	10,000	0.0%	
支出合計	43,945,000	43,945,000	38,771,479	5,173,521	88.2%	

貸 借 対 照 表

令和 7 年 3 月 31 日現在

(単位：円)

資産の部		負債・純財産の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	2,737,204	流動負債	1,493,784
現金	1,495	未払金	1,447,584
預金	1,557,932	預り金	46,200
前払費用	65,100		
未収金	1,112,677		
		基金	21,839,337
固定資産	34,797,100	基本財産基金	21,839,337
基本財産	21,839,337		
預金	21,839,337		
		積立金	12,537,827
積立資産	12,957,763	退任記念品作成準備積立金	4,114,722
預金	12,957,763	運用準備金積立金	7,744,364
		一斉改選積立金	678,741
		繰越金	1,663,356
		次年度繰越金	1,663,356
資産合計	37,534,304	負債・純財産合計	37,534,304

固定資産増減明細書

令和7年3月31日現在

(単位:円)

資産	前期末残高	期中増	期中減	期末残高	
基本財産	21,838,966	371	0	21,839,337	(別表1-(g))
預金	21,838,966	371	0	21,839,337	
運用財産	12,792,970	164,793	0	12,957,763	(別表1-(c+d+e))
固定資産	12,792,970	164,793	0	12,957,763	
預金	12,792,970	164,793	0	12,957,763	
その他固定資産	0	0	0	0	
	34,631,936	165,164	0	34,797,100	

積立金明細書

令和7年3月31日現在

(単位：円)

区分	前期末残高	当期		貸借対照表 計上額	
		増加額	減少額		
1. 退任記念品作成準備積立金	3,944,704	170,018	0	4,114,722	(別表1-(c))
2. 運用準備金積立金	7,742,589	1,775	0	7,744,364	(別表1-(d)+(e))
3. 一斉改選積立金	678,419	322	0	678,741	(別表1-(f))
合 計	12,365,712	172,115	0	12,537,827	

財 産 目 録

令和7年3月31日現在

(資	産)		37,534,304 円			
1.	基 本 財 産		21,839,337 円			※固定資産増減明細書「基本財産」
	(1) 預 金		21,839,337 円	(別表1)	(g)	
2.	運 用 財 産		15,694,967 円			※固定資産増減明細書「運用財産」
	流 動 資 産		2,737,204 円			
	(1) 現 金		1,495 円			
	(2) 預 金		1,557,932 円	(別表1)	(a)+(b)+(f)	
	(3) 前 払 費 用		65,100 円	(別表2)		
	(4) 立 替 金		0 円			
	(5) 未 収 金		1,112,677 円	(別表3)		
	固 定 資 産		12,957,763 円			
	(1) 預 金		12,957,763 円	(別表1)	(c)+(d)+(e)	
(負	債)		1,493,784 円			
1.	流 動 負 債		1,493,784 円			
	(1) 未 払 金		1,447,584 円	(別表4)		
	(2) 預 り 金		46,200 円	(別表5)		

差引正味財産 ((資産) - (負債)) 36,040,520 円

《資 産》

別表1 預金

(単位：円)

種類	会計名	一般口	退任記念品 作製準備積立	運用準備金 積立	一斉改選 積立	基本財産	合計
	銀行名						
普通 預金	横浜銀行 横浜駅前支店				678,741 (f)		678,741
	三井住友信託銀行 芝営業部	2,596 (a)	4,107,722 (c)				4,110,318
	三井住友銀行 横浜駅前支店	876,595 (b)		3,281,828 (d)			4,158,423
定期 預金	三井住友信託銀行 芝営業部			5,568,213 (e)		21,839,337 (g)	27,407,550
合 計		879,191	4,107,722	8,850,041	678,741	21,839,337	36,355,032

《負債》

別表2 前払費用 65,100 円 (単位：円)

番号	摘要	
1	令和7年度第1回総会・研修会会場使用料	65,100
合計		65,100

別表3 未収金 1,112,677 円 (単位：円)

番号	摘要	
1	運用準備金積立金取崩	1,105,677
2	退任記念品積立金積立(3月分)	7,000
合計		1,112,677

別表4 未払金 1,447,584 円 (単位：円)

番号	摘要	
1	令和6年度互助給付金(3月分)	190,000
2	令和6年度第4回公務互助給付金	60,000
3	資料等送料(3月分)	75,999
4	E Bサービス(3月分)	2,200
5	電話代(3月分)	6,708
6	運用準備金積立金取崩	1,105,677
7	退任記念品積立金積立(3月分)	7,000
合計		1,447,584

別表5 預り金 46,200 円 (単位：円)

番号	摘要	
1	源泉所得税預り金	46,200
合計		46,200

監 査 意 見 書

令和7年5月23日

神奈川県民生委員児童委員協議会会長 殿

神奈川県民生委員児童委員協議会会則第19条の定めるところにより、令和6年度における業務の執行状況並びに財務状況について、当該年度の事業報告及び収支決算、貸借対照表並びに財産目録、更にはこの内容を証する関係諸帳簿、証拠書類を精査したところ、適正かつ正確に処理されていることを認める。

神奈川県民生委員児童委員協議会

監事 井上 明 

監事 市川 悟 

